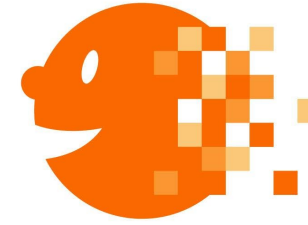


つくろう! 守ろう! 安心できる情報社会



**DIGITAL
POSITIVE
ACTION**

5つの分野の
ICT
リテラシーを
学ぼう



講師用ガイドライン

保護者
向け講座

はじめに、講師の皆さまへ

インターネットなどのデジタル技術は、私たちの暮らしに不可欠なものとなった一方で、**利用者の低年齢化に伴い、様々なトラブルやリスクも増えています。**

こどもたちが安全に利用するために、保護者も一緒に学び、取り組むことが重要です。

保護者が前向きに実践できるよう、楽しく、分かりやすく伝えていきましょう。

教材は、以下の**ゴールを達成できるように**設計されています。



- 1 安全にデジタル技術や情報を活用し、課題を解決できる
- 2 周りのことを考え、責任ある行動がとれる
- 3 新しいデジタル技術や課題にも柔軟に対応できる

教材のゴールと伝えたいメッセージ

1 安全にデジタル技術や情報を活用し、課題を解決できる

伝えたいメッセージ

- デジタル空間の特徴を理解することで、課題に対する柔軟な対応力を身につけ、責任ある行動がとれるようになってもらう
- デジタル技術が、暮らしを豊かにする可能性を知ること、前向きな気持ちを育み、すぐに取り組める具体的な活用方法を知ってもらう

教材のゴールと伝えたいメッセージ

② 周りのことを考え、責任ある行動がとれる

伝えたいメッセージ

- トラブルに巻き込まれないために、こどもと一緒に考えることの重要性や、ペアレンタルコントロールなど具体的な対処を実践できるようになってもらう
- ニセ・誤情報が社会に与える影響を知り、だまされない/拡散しない方法を知ってもらう

教材のゴールと伝えたいメッセージ

③ 新しいデジタル技術や課題にも柔軟に対応できる

伝えたいメッセージ

- 課題の背景にある、デジタル空間の特徴を理解することで、新しい課題にも、自主的に対応する力を身につけてもらう
- デジタル技術は進化しつづけていることを知り、継続的に学ぶ必要性を理解してもらう

教材の構成



教材の目次

PART 1 デジタル空間の特徴って何？

PART 2 デジタル空間には
どんなトラブルがあるの？

PART 3 自分や周囲の人をトラブルから
守るためには？

PART 4 社会をリスクから守るためには？

PART 5 デジタル技術を活用すると
何ができるの？



各PARTの目的

✓ デジタル空間の特徴を、身近な事例と共に理解することで、柔軟な対応力を身につけ、とるべき行動を知ってもらう

✓ こどもが出会いやすいトラブルを紹介し、フィルタリングの活用や家庭内ルール作りなどを実践してもらう

✓ 情報発信時の注意や、トラブルに対応する具体的な行動を理解してもらう

✓ ニセ・誤情報とは何かを理解し、情報を適切に扱う力を身につけてもらう

✓ デジタル技術を活用した便利なサービスを知り、積極的に活用してもらう

講座の進め方の例

重要度の
説明

★★★★ 特に重要
★★★ 重要
★ 自主学习も可

所要時間目安 重要度

トータル

60分

はじめに

導入説明

5分

★★

PART 1 デジタル空間の特徴って何？

講義説明

10分

★★★★

PART 2 デジタル空間には
どんなトラブルがあるの？

講義説明

10分

★★

PART 3 自分や周囲の人をトラブルから
守るためには？

講義説明

10分

★★

PART 4 社会をリスクから守るためには？

講義説明

10分

★★

PART 5 デジタル技術を活用すると
何ができるの？

講義説明

5分

★

振り返り・質疑応答

グループワーク

10分

★

※講座時間に合わせて、各パートを説明しましょう

講座実施時のポイント



デジタル空間の特徴

特徴を理解することで、
新たな課題にも対処できる
能力を身につける



身近なテーマ

ペアレンタルコントロール
など、保護者の皆さま
にとって身近なテーマや
最新事例を学べる



対話型の講義

受講者との意見共有や、
質問、振り返りを通じて
一緒に考える

ICTリテラシーチェックテスト
も活用しましょう

講師用説明例文

講師の説明例文 (教材 P1)

投影スライド

身につけようICTリテラシー

つくろう! 守ろう! 安心できる情報社会



**DIGITAL
POSITIVE
ACTION**

生活を楽しく便利にしてくれるネットの中に、
偽情報や誹謗中傷がまぎれ込んだり、
個人情報があうばれることも・・・

日常と隣り合わせになったデジタル空間を、
誰もが安心できる場所にするために、
可能性をもっとゆたかに広げるために、
ICTリテラシーを身につけよう

本教材で目指すゴール

- 安全にデジタル技術や
情報を活用し、
課題を解決できる
- 周りのことを考え、
責任ある行動がとれる
- 新しいデジタル技術や
課題にも柔軟に
対応できる

説明例文

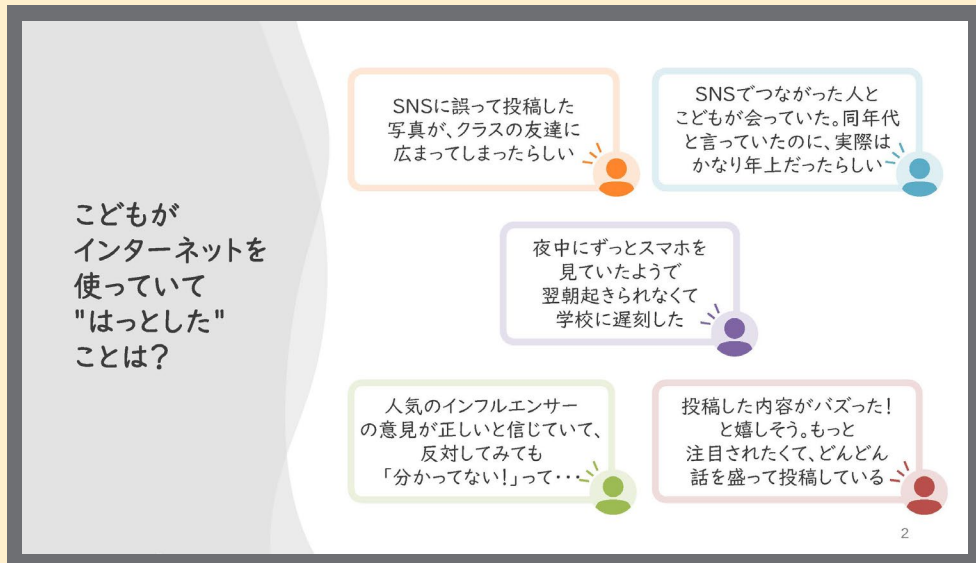
最近では、スマホやパソコンを使うことが当たり前になり、多くの情報が簡単に手に入るようになりました。しかし、その一方で、二重・誤情報や誹謗中傷などのトラブルに遭遇することもあります。一人ひとりがICTリテラシーを身につけることで、安心できる情報社会をつくり、守っていきましょう。

本教材では、安全にデジタル技術や情報を活用し、課題を解決できるようになること、周りのことを考え、責任ある行動がとれるようになること、新しいデジタル技術や課題にも柔軟に対応できるようになること、を目指しています。

クリック

講師の説明例文 (教材 P2)

投影スライド



説明例文

まずはじめに、こどもの身の回りで起きた出来事について少し考えてみてください。みなさんは、こどもがインターネットを使っていて、はっとしたことはないでしょうか？

例えば、

「こどもがSNSに誤って投稿した写真がクラスの友達に広まってしまっていた」、
「夜中にずっとスマホを見ていたようで翌朝起きられなくて学校に遅刻した」、などといったことはなかったでしょうか？

こうしたはっとした体験は、デジタル空間のどんな特徴からくるものなのでしょうか？

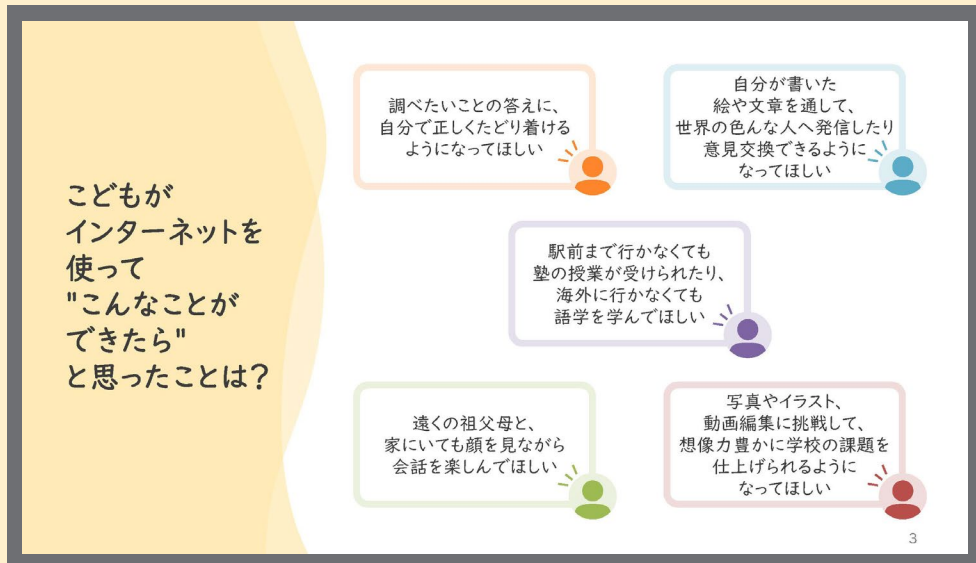
クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- 講義の冒頭に身近な体験について問いかけることで、自分ごととして捉えやすくし、興味を持って学習に取り組めるようにしましょう。
- 「他にもどんな体験がありますか？」などと問いかけ、ウォーミングアップとしても利用ください。

講師の説明例文 (教材 P3)

投影スライド



説明例文

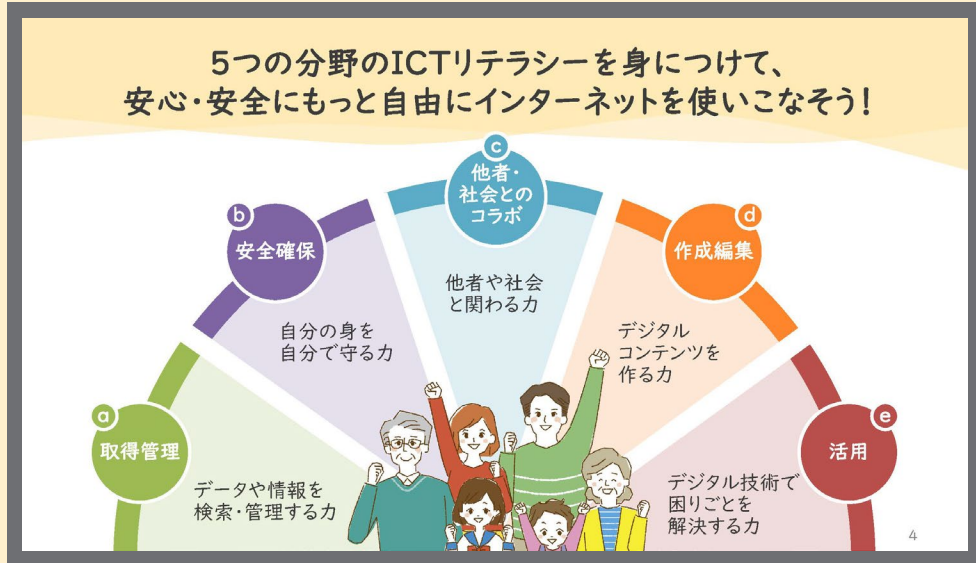
一方で、インターネットは、私たちの学びや生活をより便利に、そして楽しくしてくれる可能性がたくさんあります。みなさんも、こどもがインターネットを使っていて、こんなことができたらいいな、と思ったことはないでしょうか？

例えば、「調べたいことの答えを、自分で正しく導き出せるようになってほしい」、「遠くの祖父母と、家にいながら顔を見て会話を楽しんでほしい」。他にも、「写真やイラスト、動画編集に挑戦して、想像力豊かに学校の課題を仕上げられるようになってほしい」という思いもあるかもしれません。こどもたちが安心・安全にインターネットを活用できるように、保護者自身がICTリテラシーを身につけ、またどのように支えていけば良いのかを一緒に考えていきましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P4)

投影スライド



説明例文

ICTリテラシーは大きく5つの分野で構成されます。

1つめは「取得管理」する能力です。適切な情報の検索・保管方法を学びましょう。

2つめは「安全確保」の能力です。デジタル空間に潜むトラブルから自分や子どもを守る力を身につけましょう。

3つめは「他者・社会とのコラボ」の能力です。デジタル技術でコミュニケーションの幅が広がることを理解しましょう。

4つめは「作成編集」の能力です。デジタル技術を活用すると、文章や画像、動画などさまざまなコンテンツを作成できます。新しくできるようになったことを理解してみましょう。

最後の5つめは、「活用」の能力です。身の回りのさまざまな悩みや社会課題をデジタルを使って解決する力を身につけましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

どれか1つが身につけばいいのではなく、5つの領域をバランスよく身につけることが大切であることを強調しましょう。

講師の説明例文 (教材 P5)

投影スライド

本教材で学べること

PART 1 まず知っておくべきデジタル空間の特徴を学ぼう

PART 2 自分の身を
トラブルから守ろう

PART 3 周りの人をトラブル
から守れるように
なろう

PART 4 社会に与える
リスクを知って
おこう

PART 5 デジタル技術をもっと便利に活用しよう

デジタル空間での責任ある行動を心がけ、
インターネットをより便利に使いこなそう

5

説明例文

本教材では、5つの分野のICTリテラシーを幅広く身につけられるよう、5つのパートに分けて学んでいきます。

各パートにおいて、

パート1では、デジタル空間の特徴を知ること

パート2では、自分の身をトラブルから守れるようになること

パート3では、周りの人をトラブルから守れるようになること

パート4では、社会に与えるリスクを知ること

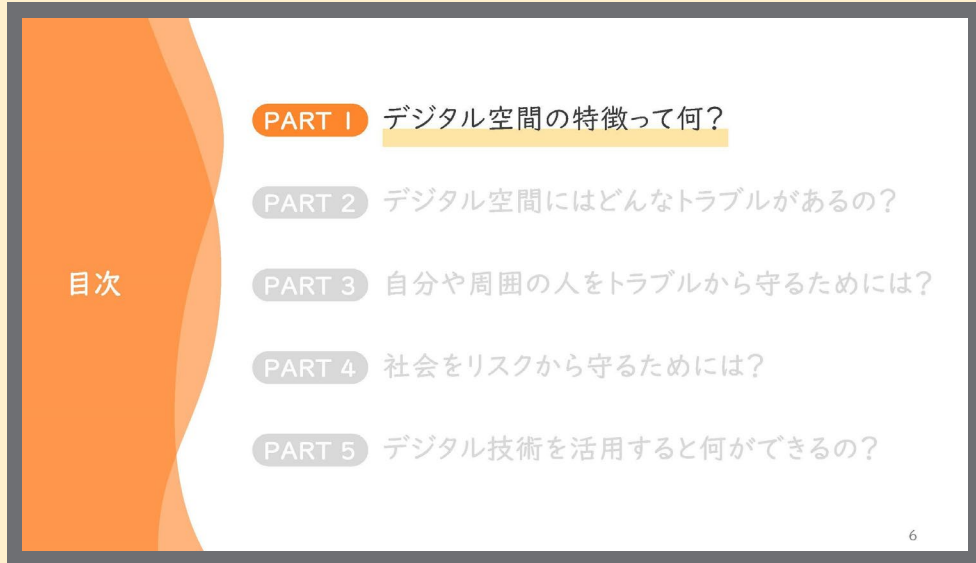
パート5では、デジタル技術をもっと便利に活用できるようになることを学びのゴールとしています。

これらのゴールを達成して、デジタル空間での責任ある行動を知り、インターネットをより便利に使いこなしましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P6)

投影スライド



説明例文

それでは、パート1に入ります。
本パートでは、デジタル空間の特徴を学んでいきます。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- PART1では、デジタル空間の特徴を学ぶことで新しい課題に出会っても柔軟に対応できる力を身につけてもらうことを目指しています。
- 教材内で紹介しているトラブルやリスクの事例が、デジタル空間のどんな特徴から起こるものなのか、紐づけて説明することを意識しましょう。

講師の説明例文 (教材 P7)

投影スライド

PART 1

学べること:
空欄の答えを考えてみよう

スマホやパソコンの向こうにあるデジタル空間の特徴を知ること、柔軟な対応力を身につけ、責任ある行動をとろう

- ・ [redacted] した情報を完全に消し去ることは難しい
- ・ [redacted] を簡単にごまかせる
- ・ あなたが [redacted] な内容が優先して表示される
- ・ 受け取る [redacted] が偏っているかもしれない
- ・ [redacted] な情報ほど注目されやすい

※答えは20ページ
7

説明例文

みなさんは、デジタル空間にどのような特徴があるか知っていますか？空欄の答えを考えてみましょう。正解は各章の最後に掲載されています。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

クイズに正解することが目的ではなく、何が入るのだろう？と考えてもらいながら学習することで、より興味を持って学習を進めてもらうことが大切です。

講師の説明例文 (教材 P8)

投影スライド

デジタル空間には、こんな特徴がある

01 情報の保存性
一度投稿した情報は残ります

02 情報の匿名性
年齢・性別などを出さなくてもよい

03 パーソナライズ
興味を持ちそうな内容が表示される

04 エコーチェンバー／フィルターバブル
受け取る情報が偏っているかも

05 アテンション・エコノミー
極端な情報ほど注目される

デジタル空間の特徴を知ることによって、
新しいトラブルにも、どう対応すればいいか自分で考えられる、
新しい技術も便利に使いこなせる

説明例文

デジタル空間には、5つの特徴があります。

1つ目は「情報の保存性」です。一度投稿した情報は、完全に消し去ることが難しく、残り続けるという特徴です。

2つ目は「情報の匿名性」です。インターネット上では、年齢や性別などの個人情報を出さずに、自由に情報を発信することが可能です。

3つ目は「パーソナライズ」です。あなたの過去の検索、閲覧の履歴などから、あなたが興味を持ちそうな内容を優先して表示させる仕組みがあります。

4つ目は「エコーチェンバー・フィルターバブル」です。

インターネット上では、同じような情報が繰り返し表示される特徴があり、それによって自分の考えが偏ってしまうことがあります。

最後に「アテンション・エコノミー」です。インターネット上では、興味や関心、注目（これをアテンション、といいます）をひくような情報によって、クリックを促し、より多くの広告をみたり、サービスを使ってもらおうとするネット上のしくみがあります。

これらの特徴を知ることによって、新しいデジタル技術が登場しても、リスクやトラブルに対して自主的に対応できるようになり、便利に使いこなせる力を育むことができます。それでは、これらの特徴の具体的な例を見ていきましょう。

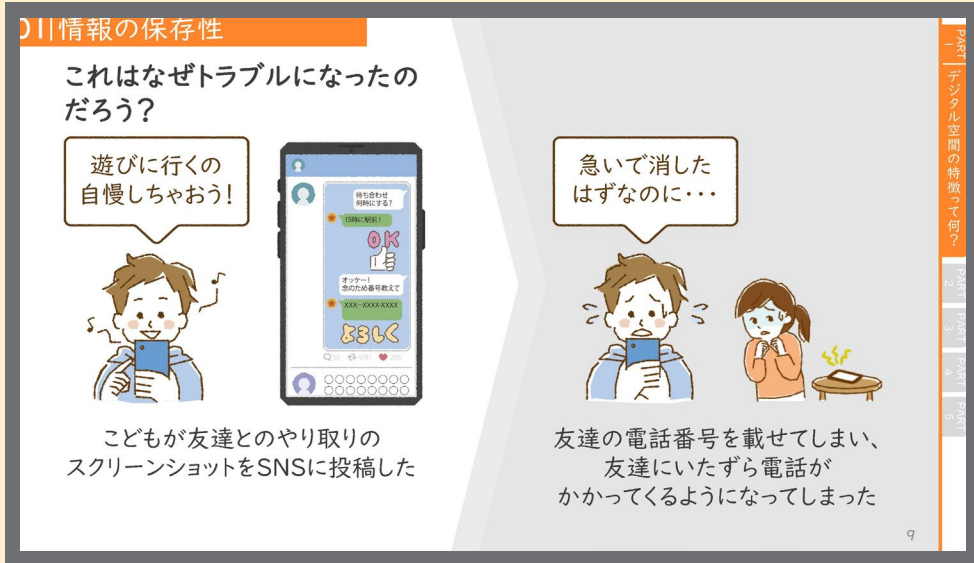
クリック

✓ 講義で意識したいポイント

デジタル空間の特徴をまとめた重要なスライドです。パーソナライズやエコーチェンバー/フィルターバブルなど、聞きなれない言葉についても、次頁以降の事例で詳しく解説することを伝えましょう。

講師の説明例文 (教材 P9)

投影スライド



説明例文

まずは情報の保存性についての具体例です。

A君はSNSに「友人とのメッセージのやりとり」のスクリーンショットを掲載しましたが、友達の電話番号が載っていたことに気づき、慌てて投稿を消しました。投稿後急いで投稿を消したはずなのに、友達の電話番号に迷惑電話がかかってくるようになってしまいました。

投稿をすぐ消したはずなのに、どうして迷惑電話がかかってくるようになってしまったのでしょうか？

クリック

講師の説明例文 (教材 P10)

投影スライド

01 情報の保存性

一度投稿した情報を削除することは難しい

投稿自体は削除できても、
スクリーンショットが拡散
されてしまうことも

「顔や名前を出しても言える
内容かな？」と考えてから投稿しよう！

住所、学校、クラスなどの個人情報は
投稿しない



10

説明例文

インターネットでは、投稿を消していても、一度流通した情報を完全に消すことはなかなか難しいのです。

A君の投稿はもしかしたら、誰かにスクリーンショットを撮られて、電話番号の情報が漏れてしまったかもしれません。

投稿する際は、「この情報は顔や名前を出しても言える内容かな？」と考えてから投稿するように気を付けてください。また、住所や学校など個人を特定できる情報は投稿しないようにすることが重要です。

クリック

講師の説明例文 (教材 P11)

投影スライド

02 情報の匿名性

これは何が問題だろう？

あっ！
いい情報見つけたかも！



SNSで「現役アスリート」が
おすすめする投稿を見つけた

現役アスリートの言うこと
なら正しいはず！



すぐにそのスポーツシューズを
買ってしまった

デジタル空間の特徴って何？

1 2 3 4 5

説明例文

次は情報の匿名性の例です。

BさんはSNSで現役アスリートがおすすめするスポーツシューズの投稿を見つけました。
「現役アスリートの僕のおすすめ、このシューズで世界大会に出られた！」と書かれていました。
部活動の成績に悩んでいたBさんは「現役アスリートのいうことなら正しいはず」と考え、すぐにそのシューズを買いました。

これはなにが問題でしょうか？

クリック

講師の説明例文 (教材 P12)

投影スライド

02|情報の匿名性

インターネット上では簡単に名前・年齢・性別・職業をごまかせる

信頼できると思った人は、
ニセモノかもしれない

「この人は実はウソをついて
いるかも？」
と疑い、自分を守ろう！

現役アスリートです



12

説明例文

Bさんが信じた現役アスリートの投稿は実はウソの投稿でした。
現役アスリートのふりをした人が、ただシューズを販売していただけで、
広告でうたわれていた効果も保証されたものではありませんでした。

インターネット上では簡単に名前・年齢・性別・職業をごまかすことができます。「この人は実はウソをついているかも？」と疑い、
自分を守りましょう！

クリック

講師の説明例文 (教材 P13)

投影スライド

03|パーソナライズ

なぜ似たような広告や
投稿ばかりが表示されるの？

ちょっと調べてみよう



ダイエットについて
検索サイトで調べてみた

SNSでもダイエットの情報
ばかり流れてくるように...

13

説明例文

次はパーソナライズの例を見てみましょう。

Cさんはダイエットについて気になり、インターネットを使ってダイエットに関する情報を検索していました。

すると、それ以降、検索サイトやSNSでは、ダイエット関連情報や広告ばかりが表示されるようになりました。

ダイエットの情報ばかり見ているうちに、「もっと早くやせなくては」、と思うようにもなっていました。

なぜダイエットに関する情報ばかりが表示されるようになったのでしょうか？

クリック

講師の説明例文 (教材 P14)

投影スライド

03| パーソナライズ

あなたが興味を持ちそうな内容が表示されている！

おすすめや広告はあなたの年齢、性別、
閲覧履歴などにもとづいて表示される
(これを パーソナライズ という)



興味のある情報が次々と表示され、スマホを見続けてしまうことも…

本当に必要な情報は何か、考えてみよう

14

説明例文

インターネットの世界では、みなさんの年齢や、過去の検索・閲覧履歴にもとづいて、それぞれの人の好みに近い有益そうな情報が優先的に表示される仕組みがあります。これをパーソナライズといいます。

興味のある情報が次々表示されることで、ついスマホを見続けてしまうこともあるかと思います。
本当に必要な情報は何か、立ち止まって考えてみましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P15)

投影スライド

04 | エコーチェンバー／フィルターバブル

この行動は
何が問題？

有名人のAさんが
言っていることは
みんな正しいと
言っている!

Aさんは正直

Aさんは正しい

Aさんに賛成

Aさんは正しい

私と同じ意見
ばかり!
やっぱAさんは
正しいんだ!

15

説明例文

次はエコーチェンバー／フィルターバブルの例です。

Dさんは「有名人のAさんの言っていることは正しい」と思っています。実際に、SNSを見ると、「Aさんの意見に賛成」という投稿がたくさん表示されているように見えます。そのため、Dさんは「みんなは私と同じ意見を持っている。だからAさんはやっぱり正しいんだ」、と思い込むようになりました。

これは、なにが問題なのでしょうか？

クリック

講師の説明例文 (教材 P16)

投影スライド

04 | エコーチェンバー／フィルターバブル

受け取る情報が偏っているかもしれない！

エコーチェンバーとは？



SNSで自分と似た意見を持つ人をフォローすると、似た意見ばかりが表示されるように

フィルターバブルとは？



自分が好む情報ばかり表示されて、反対意見や多様な考えに触れにくくなる

自分でも気がつかないうちに、**差別や偏見につながる可能性も！**
さまざまな情報をバランス良く取り入れよう！

16

説明例文

実は、私たちが受け取る情報は偏っているかもしれません。

インターネット上では、SNSなどに自分の意見を発信すると似た意見ばかりが表示されるようになる「エコーチェンバー」や、インターネットの検索履歴などをもとに自分の好みや興味・関心に近い事柄ばかりが表示され、まるで「泡」の中にいるように、限られた情報しか見えなくなってしまう「フィルターバブル」といった現象が存在します。

いろいろな考え方に触れる機会が少なくなると、自分では気がつかないうちに考えが偏りやすくなり、差別や偏見につながる可能性もあります。意識的にさまざまな情報をバランスよく取り入れることが大切です。

クリック

講師の説明例文 (教材 P17)

投影スライド

コラム

情報の「偏食」で何が起こる？「情報的健康」について考えてみよう！

「情報的健康」とは、さまざまな情報をバランスよく摂取し、自らが摂取する情報の真正性や安全性等について意識してニセ情報等への免疫を獲得することで、各人が望む幸福を追求できている状態

情報も食べ物も、
バランスよく摂取する方が健康な
状態を保てる

食事と同じように、**意識的にさまざまな情報を摂取**しよう



参考：総務省 デジタル空間における情報流通の健全性確保の在り方に関する検討会（第6回）（令和6年1月19日）配布資料
「資料6-2-2」 https://www.soumu.go.jp/main_content/000923723.pdf、
「資料6-2-3」 https://www.soumu.go.jp/main_content/000923724.pdf

17

説明例文

次に、「情報的健康」に関するコラムを紹介します。

「情報的健康」とは、さまざまな情報をバランスよく取り入れ、情報の確からしさや安全性等を意識して、ニセ情報等への免疫を獲得することで、それぞれの人が望む幸福を追求できている状態を指します。

日々の食事においても、偏った食事を続けると体調を崩してしまいます。食事と同じように、情報もバランスよく取り入れることを意識して、「情報的健康」の状態を目指しましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P18)

投影スライド

05|アテンション・エコノミー

こういった投稿・広告にはどんな問題があるだろう？



いいねが欲しくて、
SNSで動画のタイトルに
【衝撃の事実】とつけて投稿



「SNSで話題!有名人が主催する
投資セミナー」
と書かれた広告

18

説明例文

次の例を見てみましょう。

SNSで見かける投稿や広告に潜むアテンション・エコノミーの例です。

1つめは「衝撃の事実、バイト先の商品をつまみ食い！」と書かれたSNSへの投稿動画です。

2つめは、「SNSで話題！有名人が主催する投資セミナー」と書かれた投資セミナーの広告です。

これらの投稿や広告は何が問題でしょうか？

クリック

講師の説明例文 (教材 P19)

投影スライド

05|アテンション・エコノミー

インターネットでは極端な情報が拡散され、目につきやすい!

注目を集めるために、
過激なタイトルで拡散を狙う広告・投稿が多い!
(これを **アテンション・エコノミー** という)

情報をうのみにせず、投稿するときも
投稿してもよい内容かどうか、
立ち止まって考えることも大切!



事実よりも、注意を引くことを最優先してしまう…
拡散されているからといって、信頼できる情報とは限らない!

19

説明例文

アテンション・エコノミーは、興味や関心、注目（＝アテンション）をひくような情報によって、クリックを促したり、より多くの広告をみたり、サービスを使ってもらおうとするネット上のしくみのことです。

インターネットやSNS上では、注目を集めるために、過激なタイトルで拡散を狙う広告・投稿が多く存在しています。
極端な情報や偏った情報ほど拡散されやすいことを念頭に、このような投稿をうのみにせず、情報の信頼性をしっかり確認することが重要です。
また投稿する際も、注目を集めることだけを優先するのではなく、適切な情報を発信しているのか冷静になって考えるようにしましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P20)

投影スライド

PART
I

学んだこと

下線は空欄の答え

スマホやパソコンの向こうにあるデジタル空間の特徴を知ること、柔軟な対応力を身につけ、責任ある行動をとろう

- 一度投稿した情報を完全に消し去ることは難しい
- 名前・年齢・性別・職業を簡単にごまかせる
- あなたが興味を持ちそうな内容が優先して表示される
- 受け取る情報が偏っているかもしれない
- 極端な情報ほど注目されやすい



20

説明例文

PART1で学んだことを振り返り、空欄の正解を見てみましょう。

- ・ 1つ目、一度投稿した情報を完全に消し去ることは難しい
- ・ 2つ目、名前・年齢・性別・職業を簡単にごまかせる
- ・ 3つ目、あなたが興味を持ちそうな内容が優先して表示される
- ・ 4つ目、受け取る情報が偏っているかもしれない
- ・ 5つ目、極端な情報ほど注目されやすい

クリック

講師の説明例文 (教材 P21)

投影スライド

PART 1で身につくリテラシー

取得管理

a-1 インターネット検索の仕組みを知って、必要な情報を探すための方法を理解する

a-2 インターネットでは自分が好きな情報や同じ意見に触れやすいことを理解し、本当に信頼できる情報かを確認する

安全確保

b-2 インターネットにある違法・有害情報やニセ・誤情報に気をつけて、どう対処するかを学ぶ

b-4 インターネットやスマホ・PCを使うときに、体や心の健康を保つ方法を知る

他者・社会とのコラボ

c-5 インターネット上で交流するとき、いろんな背景を持った人々がいることに気をつけ配慮する

c-6 自分や他の人の個人情報を理解し、大切に管理する

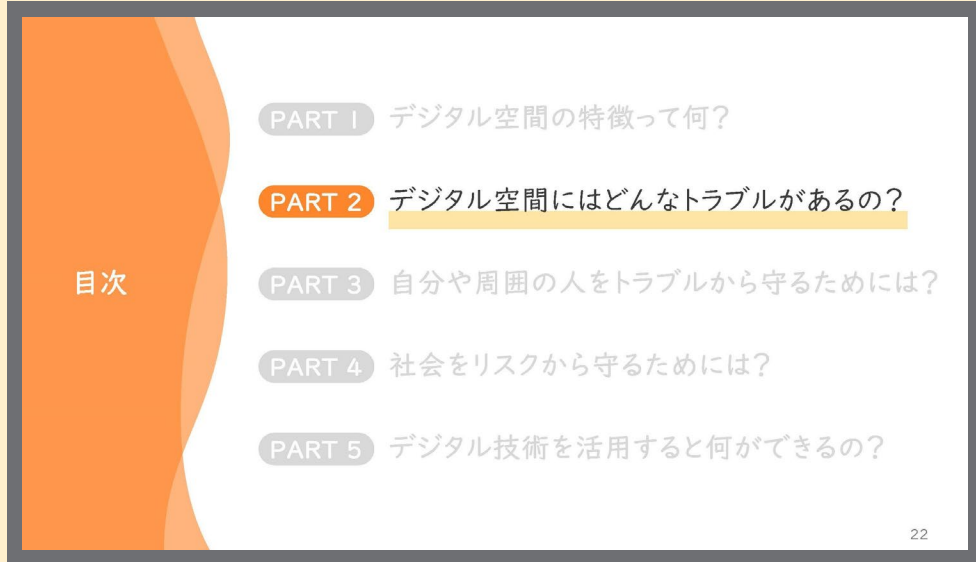
21

説明例文

クリック

講師の説明例文 (教材 P22)

投影スライド



説明例文

パート2ではデジタル空間にどのようなトラブルがあるか学んでいきましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- PART2では、こどもたちが出会いやすいトラブルについて最新の事例を交えて紹介しています。
- 闇バイトなどの犯罪被害だけでなく、スマホやインターネットの長時間利用による影響など、心と体の安全を守ることを意識して伝えましょう。

投影スライド

PART
2

学べること:
空欄の答えを考えてみよう

デジタル空間で出会うかもしれないトラブルを知ろう

- 使いすぎてしまうと、[]がある
- 気軽な購入が []になる
- 気軽な []がコミュニケーショントラブルに発展しうる
- 知らない人との []が犯罪被害につながる
- 安易に情報を信じると []にあう
- 目が届かないところで []がある

※答えは37ページ

23

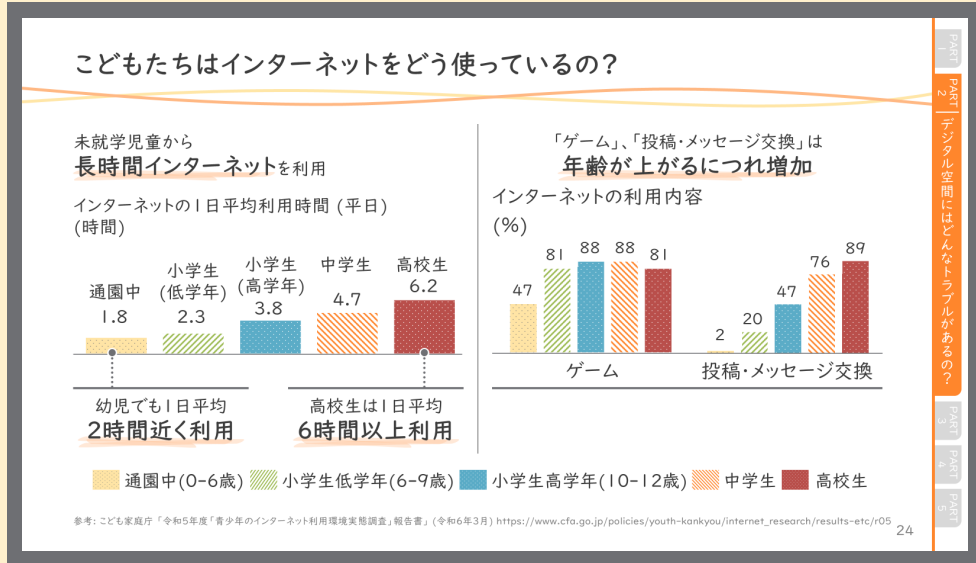
說明例文

まずは、デジタル空間で出会うかもしれないトラブルについて、空欄の答えを考えてみましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P24)

投影スライド



説明例文

まずは、こどもたちや保護者のインターネットを取り巻く環境や悩みについてみていきましょう。こちらは、こどもたちがインターネットをどのように使っているかを調べた調査結果です。

左側のグラフは、こどもたちがインターネットを1日にどれくらい使っているかを示しています。幼児でも1日平均2時間近く利用しており、小学生では1日平均3.8時間程度、高校生になると1日平均6時間以上利用していることがわかります。

次に、右側のグラフはインターネットの利用内容を示したグラフです。年齢が上がるにつれて、ゲームやSNS・メッセージ交換などの利用割合が増えていることが分かります。こどもたちがどのくらいの時間、どのようなサービスを利用しているかを把握し、適切な使い方をサポートすることが大切です。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

自分のこどもが「インターネットをどのように使っているか」、「何時間使っているか」を保護者が把握できているかを問いかけてみましょう。無意識のうちに、関心がないままになっていないかを考えてもらい、保護者の役割の大切さを伝えましょう。

講師の説明例文 (教材 P25)

投影スライド

保護者はどんな不安を感じているのだろう？



- 1位 長時間の利用
 - こどもが利用時間を守れない…
- 2位 スマートフォン、SNSやゲームへの依存
 - スマホ依存症になるのではないか…
- 3位 使用状況の不安
 - こどもがスマホを何に使っているかわからない…

参考: 総務省「我が国における青少年のインターネット利用に係る調査 結果概説」(令和6年6月) https://www.soumu.go.jp/main_content/000955177.pdf

25

説明例文

これは、青少年のこどもを持つ保護者に対して、こどものインターネット利用に関してどのような不安を抱いているのかを調査した結果です。

保護者が抱えている不安で最も多かったのは、こどもの利用時間に関する不安です。こどもが利用時間を守れないことについて多くの人が課題や不安を感じています。

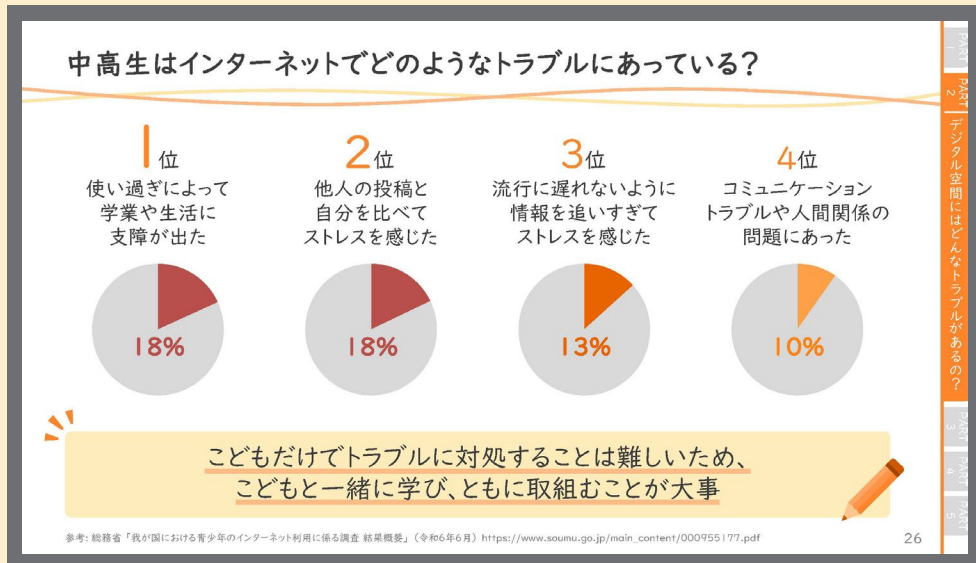
次に多かったのは、スマートフォン、SNSやゲームへの依存に対する不安です。

3番目は「使用状況の不安」です。こどもがスマホを何に使っているかわからないといった声が多く見られました。

クリック

講師の説明例文 (教材 P26)

投影スライド



説明例文

では、こどもたちは実際にインターネットでどのようなトラブルにあっているのでしょうか？総務省が2023年度に青少年に対して行ったトラブル遭遇状況のアンケート結果を見てみましょう。

最も多い回答は、「使い過ぎによって学業や生活に支障が出た」というもの、2-4位は「他人の投稿と自分を比べてストレスを感じた」、「流行に遅れないように情報を追いつぎすぎてストレスを感じた」、「コミュニケーショントラブルや人間関係の問題にあった」といったインターネットを起因としたストレスに関わるものでした。

こどもだけでは、こうしたトラブルに対処することは難しいため、保護者がこどもと一緒に学び、ともに取組むことが重要です。以降のスライドでは、実際のトラブルの例とその対策について見ていきましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P27)

投影スライド

スマホやインターネットを長時間利用すると・・・

健康・生活に悪影響が出る

- 昼夜逆転する
- 寝不足になる
- 視力が悪くなる

- SNSを見ないと不安になる
- 集中力が低下する
- 他人と比べて落ち込む

「ペアレンタルコントロール」で利用時間を設定しましょう！
「ペアレンタルコントロール」の詳細は本教材P45を参照

「フィルタリングや時間管理等で上手にコントロール」(総務省)

Webサイト

27

説明例文

スマホやインターネットの使い過ぎにより学業や生活にどのような影響がでてしまうのでしょうか？

友達に付き合っメッセージのやり取りをやめられない、動画が次々おすすみされ見続けてしまうなど、昼夜逆転し、生活リズムの乱れを引き起こします。その結果、寝不足になったり、視力が悪くなってしまうことがあります。体への影響だけでなく、SNSを見ていないと不安で、授業や友達との会話に集中できない、他人の投稿と自分を比較して落ちこんでしまうなど、心へも悪影響を引き起こします。

このようなトラブルを防ぐために、ペアレンタルコントロールによって、スマホやインターネットの利用時間を制限することが有効です。ペアレンタルコントロールについては、本教材や総務省のHPでも詳しく解説しています。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- 総務省のサイトでは、ペアレンタルコントロールの具体的な方法について説明する教材も掲載しています。必要な時に、受講者が後から自分でも参照できるように、実際のサイトを紹介します。

講師の説明例文 (教材 P28)

投影スライド

インターネットで気軽にお金を使うと・・・

自分をコントロールできなくなり
やめられなくなる

もう1回
まわせば
出るはず・・・



あと
1回だけ・・・

思いがけない
高額な請求が来てしまう



「ペアレンタルコントロール」で
購入やダウンロードを制限しましょう!

「フィルタリングや時間管理等で
上手にコントロール」(総務省)

Webサイト



28

説明例文

次に紹介するのはインターネット上での購入によるトラブルの例です。

スマホゲームやスマホアプリでは、小額の購入が次第にエスカレートしやすくなります。

例えば、ゲーム内のアイテムをランダムに入手できる「くじ引き」を使ってみたら、「あともう少しで欲しいアイテムが出るかも!」、などと繰り返すうちに、自分を制御できなくなり、知らない間に高額な金額になってしまうことに・・・

スマホのペアレンタルコントロール機能を利用して、購入やダウンロードを制限することで、こうしたトラブルも防ぐことができます。

クリック

講師の説明例文 (教材 P29)

投影スライド

インターネットで気軽に投稿をすると…

文字だけのコミュニケーションは
思っているよりも難しい!

誤解を与えないために工夫してみよう!

- 送る前に見直す習慣をつける
- 絵文字、スタンプなどを使う
- 電話することも考える



こどもの学びのためにも小さな失敗ができる環境は大切
大きなトラブルにならないよう見守りつつ、
まずは家族や身近な友人のやり取りから学んでいきましょう

29

説明例文

SNSやグループメッセージなどでは思わぬコミュニケーショントラブルを引き起こすことがあります。文字だけのコミュニケーションでは、相手に自分の意図を正確に伝えることは難しいことを意識しましょう。

例えば、

- 投稿する前にもう一度内容を見直す習慣をつける
- 絵文字やスタンプを使う
- 電話や直接話すことも考える

などといった工夫をすることが有効です。これからのこどもたちは、デジタル空間でのコミュニケーション機会が増えていきます。こども自身の学びのためにも、時には失敗する経験も必要です。大きなトラブルにならないよう保護者がSNSなどの投稿を見守りつつも、家族や身近な友人とのやり取りから学んでいきましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

保護者の関与を前向きなものにすることが大切です。保護者が「見守る」ことで、こどもが安心して相談できる環境を整え、こども自らの成長の機会につながることを伝えましょう。

講師の説明例文 (教材 P30)

投影スライド

インターネットで知らない人と気軽につながってしまうと…

住所や氏名などの個人情報を知られてしまい、ストーカー被害に

送った写真や情報をネタに、おどされる被害に

名札が映り込む

家の近所で撮影

拡散されたくないならお金を払え

「ペアレンタルコントロール」でSNSを安全に使える環境を設定しましょう!

「フィルタリングや時間管理等で上手にコントロール」(総務省)

Webサイト

30

説明例文

これは、インターネットで知らない人と気軽につながってしまいトラブルになった例です。

自分の家の周りで撮影した写真を気軽に投稿して、映り込んだ文字や周辺の景色の特徴を元に住所や本名を特定され、ストーカー被害にあうリスクもあります。

また、インターネットを通じて仲良くなった人に写真を送ってしまい、写真を拡散されたくないならお金を払えとおどされるトラブルも発生しています。

こどもにインターネットで知らない人とつながることの危険性を説明し、ペアレンタルコントロールを活用してSNSの利用を適切に管理することも有効です。

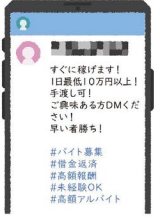
クリック

講師の説明例文 (教材 P31)

投影スライド

SNSで募集している怪しいバイトは、誰が募集をしているか分からない

楽に稼げそうなバイトを見つけた！
メッセージを送ってみよう



家族にも警察にも相談できない...

身分証明書の写真でおどされ、逆らえなくなり、罪を犯すことに

参考: 警察庁「いわゆる「闇バイト」の危険性について」
<https://www.npa.go.jp/bureau/safety/life/yamibaito/honzaihaboshu.html>

31

説明例文

SNS上で、楽に高額を稼げるバイトを見つけ、興味を持ったこともが投稿者にメッセージを送ってしまいました。
身分証明書の写真を求められたので、写真を撮って送りました。

その結果、身分証明書の写真でおどされ、犯罪行為を強要され、罪を犯すことに...

クリック

講師の説明例文 (教材 P32)

投影スライド

SNSで募集している怪しいバイトは、誰が募集をしているか分からない

こんなときは闇バイトかも!?

- SNSなどで "簡単に稼げる" と投稿があった
- 応募したら、まず身分証明書の写真を送るように要求された
- 連絡手段として、見たことのないアプリやサイトを指定された

犯罪者にならないために!

- 身分証明書や個人情報は渡さないよう注意しよう!
- 危ない様子を見かけたら、すぐに警察に連絡しよう!



参考: 警察庁「いわゆる「闇バイト」の危険性について」<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/yamibaito/hanzoishaboshu.html>

32

説明例文

- 簡単に稼げる、高額報酬、などといった投稿、
 - 応募すると、身分証明書の写真を送るように指示されたり、
 - 連絡手段として見たことのないアプリやサイトを指定された、
- といったことがあれば、闇バイトの可能性を疑いましょう。これらは詐欺や犯罪につながる危険な兆候です。

身分証明書や個人情報を絶対に渡さないように注意を促しましょう。
また、こどもたちが保護者へ相談できる環境を整えることも非常に重要です。
日頃からこどもたちの様子を観察し、危ない様子を感じたら、すぐに警察に相談するようにしましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P33)

投影スライド

インターネットの情報を安易に信じると詐欺などに巻き込まれる可能性も

SNSで知り合った
有名な会社社長の秘書
を名乗る人から連絡がきた

〇〇の社長秘書です

特別な投資
しませんか？

なりすまし詐欺とは、
メールや電話で信頼させ、
金銭などをだまし取る犯罪
よくある手口は他にも・・・

- ・ 親族、警察官などを装う
- ・ 未払い料金などの架空請求メールを送る

ウソの身分をかたった、
なりすまし詐欺の可能性も！

受信メールは**送り主を確認！**
少しでも不安を感じたら
家族や警察に相談しよう！

参考: 警察庁「警察庁・SOS47特殊詐欺対策ページ SNS型投資詐欺」<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/sos47/case/sns-romance/investment/>

33

説明例文

これはこどもだけでなく、保護者の皆さま自身にも気をつけて
いただきたいトラブルの例です。

SNSで知り合った有名な会社の社長秘書を名乗る人から、特別な投資に
誘われました。これは、ウソの身分をかたったなりすまし詐欺の可能性が
あります。

なりすまし詐欺とは、メールや電話で信頼させ、金銭をだまし取る犯罪
です。親族や警察を装ったり、未払い料金の架空請求メールが送られて
くるなど、手口はさまざまです。

メールを受信したら送り主を確認し、少しでも不安を感じたら家族や警察に
相談するようにしましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- ・ こどもが会うトラブルだけでなく、保護者自身も、犯罪に巻き込まれる可能性があります。
自分を守ることで、こどもを守ることもつながることを説明しましょう。

講師の説明例文 (教材 P34)

投影スライド



説明例文

本スライドでは、適切な設定をせずに、親のスマホをこどもに貸し与えてしまう場合のトラブルについて考えてみましょう。

例えば、大人に向けられた、脱毛や過度なダイエットなど、身体的な特徴を強調し、あおるような内容を含む広告ではこどもに強い圧力をかけてしまいます。

また、思いがけず、暴力的な内容や違法薬物に関するコンテンツ、アダルトコンテンツにアクセスする危険性もあります。

未就学児を含め、こどもたちが保護者の目が届かないところで無自覚に有害サイトにアクセスしてしまうリスクがあります。

こども家庭庁では、保護者が知っておきたいポイントについてまとめているので、ぜひ確認してみてください。

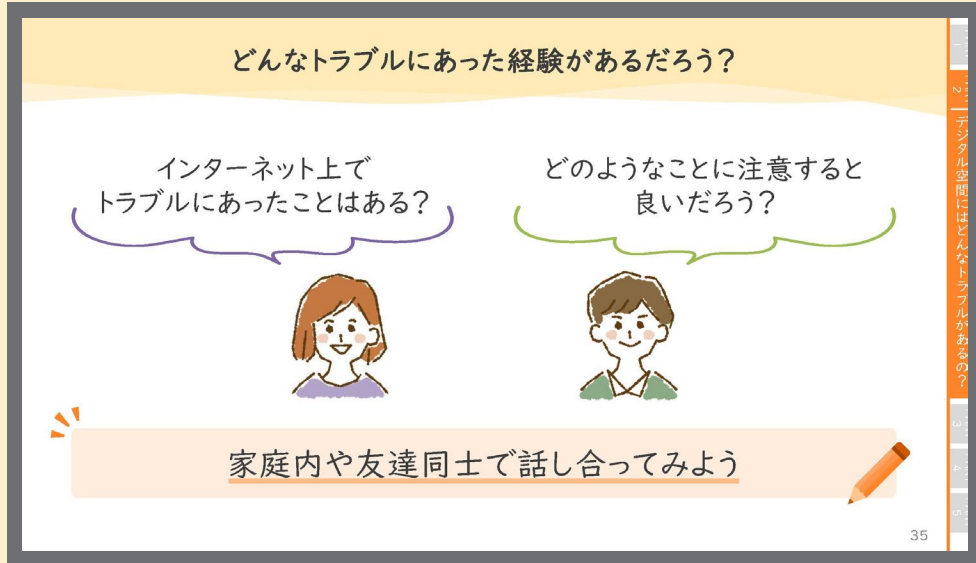
クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- 未就学のこどもなど、スマホを持っていない場合でも、親のスマホを利用して、トラブルに巻き込まれるリスクがあります。未就学のこどもを持つ保護者などに向けても、しっかりと説明をしましょう。
- こども家庭庁のリーフレットでは具体的な啓発ポイントを説明しています。併せて紹介しましょう。

講師の説明例文 (教材 P35)

投影スライド



説明例文

これまで学んできたインターネットのトラブルに関して、振り返りましょう！
あなたが経験したことはありますか？今後どのようなことに注意すると良いでしょうか？

家族や友人同士で話し合ってみましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- 講座で学んだ事例などの具体例を出しながら受講者へ問いかけ、PART3の具体的な対処法の学びにつなげましょう。
- 少人数のグループディスカッションやペアワークなどにするなど、意見交換しやすい形を工夫してみましょう。

講師の説明例文 (教材 P36)

投影スライド

トラブルへの対処方法についてもっと知りたい方へ

インターネットのトラブルに関する最新トピックの解説を掲載！



PC、スマホ、タブレットの
どれでも見やすいHPで紹介

漫画形式で学べます

インターネットトラブル事例集
(総務省)

→ Webサイト



36

説明例文

他にもインターネットにはいろいろなトラブルがあります。
総務省のHPではいろいろなトラブル事例に関する最新トピックを漫画で
わかりやすく紹介しているので、こどもと一緒に、ぜひ見てみてください。

クリック

講師の説明例文 (教材 P37)

投影スライド

PART
2

学んだこと

下線は空欄の答え

デジタル空間で出会うかもしれないトラブルを知ろう

- 使いすぎてしまうと、健康や生活に悪影響がある
- 気軽な購入が思いがけない高額請求になる
- 気軽な投稿がコミュニケーショントラブルに発展しうる
- 知らない人との軽率な交流が犯罪被害につながる
- 安易に情報を信じると詐欺被害にあう
- 目が届かないところで有害サイトに接する可能性がある

37

説明例文

PART2で学んだことを振り返り、空欄の正解を見てみましょう。

- ・ 1つ目、使いすぎてしまうと、健康や生活に悪影響がある
- ・ 2つ目、気軽な購入が思いがけない高額請求になる
- ・ 3つ目、気軽な投稿がコミュニケーショントラブルに発展しうる
- ・ 4つ目、知らない人との軽率な交流が犯罪被害につながる
- ・ 5つ目、安易に情報を信じると詐欺被害にあう
- ・ 6つ目、目が届かないところで有害サイトに接する可能性がある

クリック

講師の説明例文 (教材 P38)

投影スライド

PART 2で身につくリテラシー

安全確保

b-1 商売目的で自分の個人情報が使われることがあるから、スマホ・PCや情報を守る方法を知っておく

b-3 インターネットでの振る舞いが問題になることがあるから、どうしたらトラブルにならないかを考えながら使う

b-4 インターネットやPC・スマホを使うときに、体や心の健康を保つ方法を知る

他者・社会とのコラボ

c-1 デジタル技術を使って、他の人とコミュニケーションを取ることができる

c-5 インターネットで交流するとき、いろんな背景を持った人々がいることに気をつけ配慮する

c-6 自分や他の人の個人情報を理解し、大切に管理する

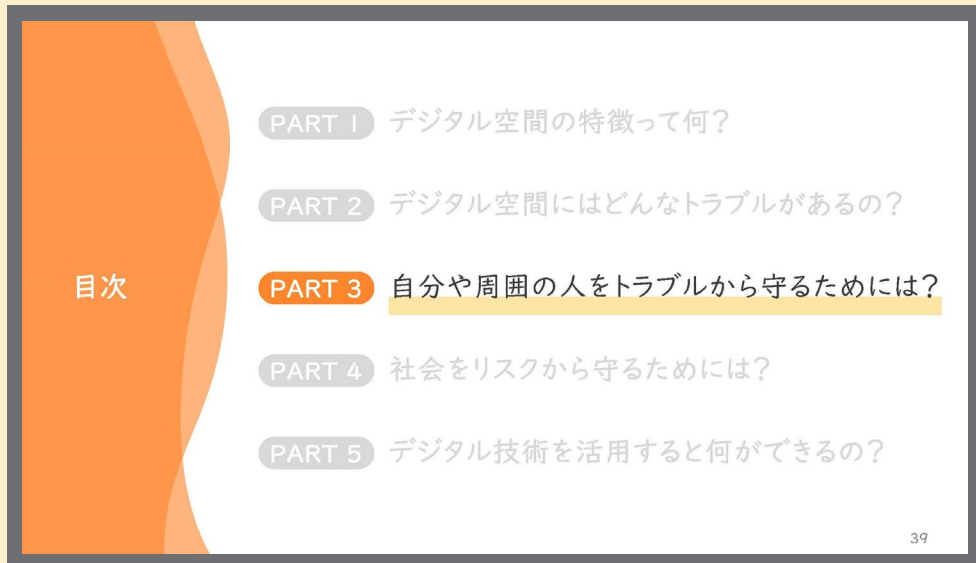
38

説明例文

クリック

講師の説明例文 (教材 P39)

投影スライド



説明例文

ここまでインターネットにはさまざまな危険が存在していることを紹介してきました。自分や周囲の人を守るためにはどうすればよいか、具体的な対処方法について、パート3で学んでいきましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- PART3では、情報を発信する際にトラブルに巻き込まれないための具体的な行動と、巻き込まれた時の対処法を伝えましょう。
- パレンタルコントロールや家庭内のルールづくりなどの有効性を説明し、関連教材なども紹介しながら、こどもと一緒に取り組み、実践できるようになってもらうことを目指しましょう。

講師の説明例文 (教材 P40)

投影スライド

PART
3

学べること:
空欄の答えを考えてみよう

自分や周囲の人をトラブルから守る具体的な対策を行おう

- 情報を発信する際は、トラブルに遭わないために対策をする
 - 個人情報の発信、知らない人との気軽な交流
 - 誹謗中傷、著作権/肖像権侵害
- こどもが安心して使えるように、家庭内ルール・フィルタリングなどの [] に取り組む
- トラブルに巻き込まれたら、保護者が [] の手を打ち、 [] を考える

※答えは53ページ

40

説明例文

自分や周囲の人をトラブルから守る具体的な対策についてです。
空欄の答えを考えてみましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P41)

投影スライド

子どもや周囲の人をトラブルから守るためには？

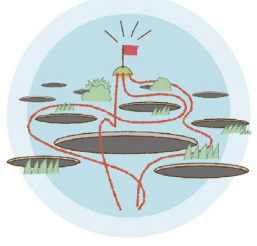
A 発信時の注意点

何に気を付けるといいだろう？



B トラブルへの対応

どう回避したり、対応したらいいのかな？



41

説明例文

自分や周囲の人を危険から守るために、
A情報の発信時の注意
Bトラブルへの対応
の2つに分けてみていきましょう。

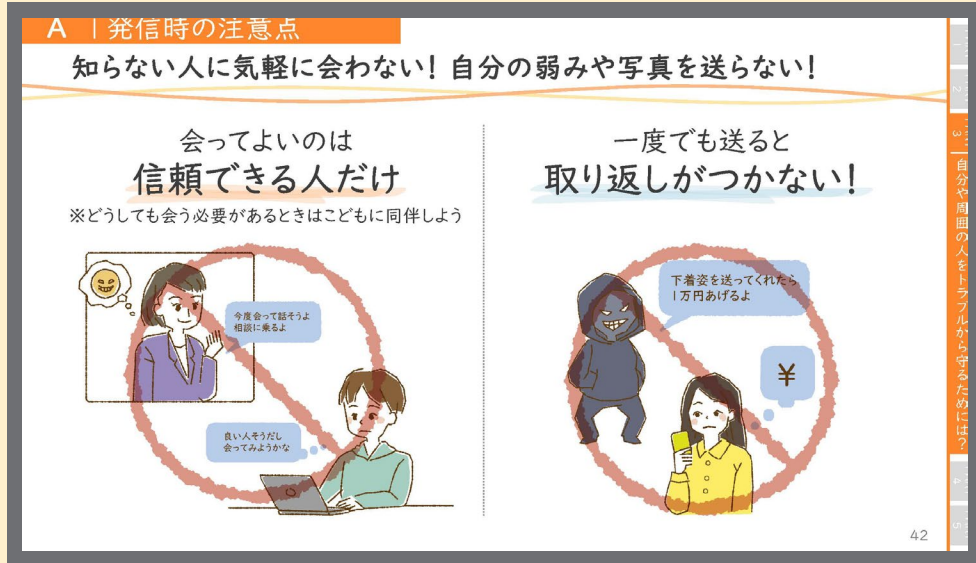
クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- 発信時の注意では、誰もが被害者にも加害者にもなりうる事例を紹介しています。トラブルに巻き込まれないよう注意するだけでなく、自分もトラブルを起こしてしまう可能性があることを理解してもらうことが重要です。

講師の説明例文 (教材 P42)

投影スライド



説明例文

発信時の注意の1つめです。

自分の身を守るために、知らない人とは気軽に会わないこと、後で後悔しそうな自分の弱みや写真を送らないことが重要です。

インターネットでやり取りしている人から「今度会って話そう」と誘われています。しかし、インターネットで知り合った相手は、年齢・性別を偽っていたり、実際には悪意のある人物である可能性も。会ってよいのは信頼できる人だけ。

また、一度送った写真や情報は悪用されるリスクもあります。

プライベートな写真や個人情報が流出すると、それがネット上で拡散され、取り返しのつかないことになる可能性があります。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- こどもの年齢を問わず起こりうるトラブルです。「知らない人とは会わない」をただの注意で終わらせないよう、「どこまでが知らない人なのか？」など日頃からこどもと対話をすることも大切です。

講師の説明例文 (教材 P43)

投影スライド

A | 発信時の注意点
インターネットで相手の人格を否定・攻撃することはやめよう!

SNS上で悪口・誹謗中傷を投稿すると
名誉毀損罪や侮辱罪などに問われたり、
高額の**慰謝料**を請求されたりする

匿名でも発信者を
特定できるよ!

法律事務所

**匿名の投稿や、拡散しただけでも
罪に問われるので注意しよう!**

43

説明例文

SNS上で悪口を投稿するとどうなるでしょうか？

特定の人物やグループに対して悪口をSNSで広めることは名誉毀損罪や侮辱罪などに問われたり、高額の慰謝料を請求されたりすることがあります。また匿名で投稿したとしても発信者を特定することができます。

匿名の投稿や拡散しただけでも罪に問われるので注意しましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P44)

投影スライド

A | 発信時の注意点
著作権・肖像権を侵害しないよう注意しよう!

著作権侵害

体育祭のTシャツに人気のイラストを使いたいな! インターネットからコピーして使おう!



写真・イラスト・音楽などを権利者の許可を得ずにコピー・公開、引用表記なしで利用してはいけません

肖像権侵害

街で〇〇先輩の私服を撮影しちゃった! SNSにアップしよう!



写真に写っている人には肖像権がある
無断でSNSなどに公開してはいけません

44

説明例文

写真やイラスト、音楽などを公開するときには著作権や肖像権に注意する必要があります。

例えば、体育祭のTシャツに人気のイラストをコピーして使おうとしました。しかし、イラストを権利者の許可を得ずにコピー・公開することは著作権侵害にあたります。

また、写真に写っている人には肖像権があるため、ネットやSNSで公開・投稿する場合、写真に写っている本人の許可が必要になります。許可なく撮影した写真などをSNSなどに投稿するのはやめましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P45)

投影スライド

B |トラブルへの対応
こどもが安全に使えるように、利用環境を整えサポートしよう

ペアレンタルコントロール

こどもたちが安心・安全に利用できるよう、保護者も一緒に学び、取り組むことが大切です

スマホ依存や使いすぎ防止の設定

- ペアレンタルコントロール機能で利用時間、購入やダウンロードを管理

家庭内のルールづくり

- こどもと一緒にルールを決めて、家族みんなで見守る環境作り



45

説明例文

トラブルへの対応を具体的に見ていきましょう。
こどもたちがインターネットを安全に利用できるように、保護者が利用環境を整えてあげてくれることを「ペアレンタルコントロール」といいます。
保護者も一緒に学び、取り組むことが大切です。

スマホのペアレンタルコントロール機能で、こどもの利用時間、購入状況やダウンロードを管理することで、スマホ依存や使いすぎ防止の設定ができます。また、家庭内のルールづくりとして、こどもと一緒にルールを決めて、家族みんなで見守る環境づくりをしましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P46)

投影スライド

B |トラブルへの対応
こどもが安全に使えるように、利用環境を整えサポートしよう

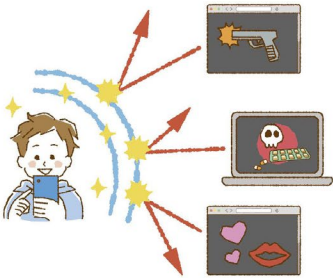
フィルタリング
フィルタリングは有害情報やトラブルから守る砦

無自覚なトラブルを回避

- こどもが薬物や犯罪の情報に気付かないうちに触れてしまわないよう制限

設定のカスタマイズ

- こどもと対話しながら年齢や、家庭のルールに応じて設定



46

説明例文

さらに、違法・有害情報との接触から守り、安心・安全なネット利用を手助けするサービスとして「フィルタリング」があります。

フィルタリングは違法・有害情報との接触から守り、トラブルに巻き込まれないためのとりでとなります。未就学児童などが、無自覚のうちに薬物や犯罪の情報に触れないよう制限することなどができます。こどもの年齢や家庭のルールに応じて、設定を行いましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P47)

投影スライド

B | トラブルへの対応
家庭内でルールを決めよう!

何を決めたらいいの?

安心して楽しく使うための
"約束ごと" を決めよう

- 何のために使うの?
例:調べ学習をするため
- どのくらい使うの?
例:夕方に〇〇時間リビングで使う
- どのように使うの?
例:お金を使うときは事前に相談する
など

どうやって決めたらいいの?

みんなで守れる
"わが家のルール" を作ろう

- 家族みんなの意見を聞いて、
一緒に考えてみよう
- もし守れないときはどうするか、
も考えてみよう

47

説明例文

家庭内のルール作りでは何を、どのように決めたらいいのでしょうか？

まず安心して楽しくスマホやネットを使うための約束ごとを話し合う必要があります。

例えば、「何のために使うのか」「1日あたりどのくらいの時間を使うのか」「どんな使い方をするのか」といった点を決めておくことが重要です。

またこのルールは家庭内で相談して決めていくことが大切です。

みんなが意見を出し合い、ちゃんと守れそうか？

守れない場合はどうするか？までしっかり考え、こどもの成長に合わせて定期的に見直しましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- 受講者が子どもと一緒に参加している場合は、講義内で家庭内のルールについて話し合う時間をとってみましょう。
- 保護者だけで参加している場合は、各家庭でのルールについて受講者同士で話し合ってみましょう。

講師の説明例文 (教材 P48)

投影スライド

B |トラブルへの対応
子どもと相談しながら、フィルタリングやスマホの機能を活用しよう



マンガサイトを見ていたら、突然60万円も請求された!



フィルタリングで
有害・違法サイトへのアクセスを事前に防げる



ゲームから一日中離れられず、生活に影響が...



スマホの機能で
子どもと一緒に適切な使用時間を相談できる

参考: 総務省「上手にネットと付き合おう〜安心・安全なインターネット利用ガイド〜 特集ページ フィルタリングサービス」
https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/filtering/

48

説明例文

フィルタリングやスマホの機能を活用することで、

例えば、漫画サイトを見ていて、知らずに有害なサイトにアクセスしてしまい、予期せぬ高額請求が発生してしまった、などのトラブルが起きないように、事前に有害サイト・違法サイトにアクセスしないようにできます。

また、使用時間を制限する機能を使えば、ゲームから一日中離れられなくなるといった日常生活への支障を防ぐことができます。

子どもと相談しながら、活用するようにしましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P49)

投影スライド

B | トラブルへの対応
こどもの年齢にあったサービスを使おう！

動画閲覧サービスの
「こども向けサービス」
を活用しよう！

対象年齢に合う動画のみを閲覧できたり、
視聴時間に制限をかけることが可能

- 例: YouTube Kids
- 例: Netflix 年齢制限設定
- 例: Amazon Kids+

ゲームの
対象年齢
を確認しよう！

ゲームには、
年齢区分が記載

- B~D:
対象年齢以上
を推奨
- Z:
18歳未満に
販売禁止



参考: 特定非営利活動法人 コンピュータエンターテインメントレーティング機構「レーティング制度」 <https://www.cero.gr.jp/publics/index/17>

49

説明例文

動画配信サービスやゲームには、こどもの年齢に応じた制限や設定が可能なものもあります。動画配信サービスには、「こども向けバージョン」があり対象年齢にあうコンテンツのみを閲覧できるようにする機能や視聴時間に制限をかけることができる機能があります。

YouTube KidsやNetflix 年齢制限設定、Amazon Kids+などにこういった機能が用意されています。
また、ゲームには対象年齢が明確に記載されています。この記載を確認することで、こどもが不適切なコンテンツに触れることを防ぐことができます。
ペアレンタルコントロール機能や対象年齢付きのサービスを積極的に活用し、こどもの年齢に合ったサービスを利用しましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P50)

投影スライド

B |トラブルへの対応
それでもトラブルに巻き込まれてしまったら…

冷静になる	状況を把握する	相談する/対応する	再発防止策を取る
 - 慌てて行動しない! - まずは落ち着いて状況を聞き出す	 - トラブルの状況や証拠を整理する - 詐欺メール被害であれば文面を保存する	 - 学校・家庭内で相談する - トラブル防止の対応をする - 保護者が介入し、不適切な投稿を止めるなど	 - トラブルの原因を理解する - こどもと相談してルールを見直す - フィルタリング/ウイルス対策を強化する

悩まずにすぐに学校・家庭内で相談できる環境をつくろう

50

説明例文

それでも、こどもがトラブルに巻き込まれてしまったときの対処法を、4つのステップで整理してみます。

まず、保護者が冷静になることが大切です。慌てて行動せず、まず落ち着いて、状況を聞き出すようにしましょう。

次に、トラブルの状況や証拠を整理します。適切な対処につなげるためには、第三者に客観的な説明をできることが大事です。トラブルの状況、被害を受けた証拠をなるべく正確に残しておきましょう。

状況を把握したら、学校や家庭内などで話し合い、対応を相談しましょう。

また、原因を見直して再発防止の手を打つことも大切です。フィルタリング/ウイルス対策などトラブルを未然に防ぐための対策を取りましょう。

何か起きたら、一人で悩まずすぐに学校・家庭内で相談できる環境をつくりましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P51)

投影スライド

B |トラブルへの対応

インターネット上の書き込みなどに関する相談・通報窓口・・・①

悩みや不安について話をしたい	まもろうよ こころ(厚生労働省)	→ Webサイト	
ネット上の書き込み・画像を削除したい	セーフライン (一般社団法人セーフアーインターネット協会)	→ Webサイト	
	誹謗中傷ホットライン (一般社団法人セーフアーインターネット協会)	→ Webサイト	
	法務省インターネット人権相談受付窓口 (法務省)	→ Webサイト	

51

説明例文

インターネット上での書き込みやトラブルに関する相談窓口です。
あったしまったトラブルに応じて、専門の窓口にご相談しましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

自分一人で解決するのではなく、周囲に助けを求めることも大切です。必要に応じて、さまざまな相談窓口があることを伝えましょう。

講師の説明例文 (教材 P52)

投影スライド

B |トラブルへの対応

インターネット上の書き込みなどに関する相談・通報窓口・・・②

どうしたらよいか 分からない	違法・有害情報相談センター(総務省)	→ Webサイト	
身の危険を感じている/ おどされている・ 犯人の捜査、処罰を 求めたい	サイバー事案に関する相談窓口(警察庁)	→ Webサイト	
闇バイトに 巻き込まれた、 なりすまし詐欺に だまされた	警察相談専用電話 #9110 または近くの警察署		

52

自分や周囲の人をトラブルから守るためには？

説明例文

クリック

講師の説明例文 (教材 P53)

投影スライド

PART
3

学んだこと

下線は空欄の答え

自分や周囲の人をトラブルから守る具体的な対策を行おう

- 情報を発信する際は、トラブルに遭わないために対策をする
 - 個人情報の発信、知らない人との気軽な交流
 - 誹謗中傷、著作権/肖像権侵害
- こどもが安心して使えるように、家庭内ルール・フィルタリングなどのペアレンタルコントロールに取り組む
- トラブルに巻き込まれたら、保護者が状況整理・トラブル解決の手を打ち、再発防止策を考える

53

説明例文

PART3で学んだことを振り返り、空欄の正解を見てみましょう。

- 1つ目、情報を発信する際は、トラブルに遭わないために対策をする
 - 個人情報の発信、知らない人との気軽な交流
 - 誹謗中傷、著作権/肖像権侵害
- 2つ目、こどもが安心して使えるように、家庭内ルール・フィルタリングなどのペアレンタルコントロールに取り組む
- 3つ目、トラブルに巻き込まれたら、保護者が状況整理・トラブル解決の手を打ち、再発防止策を考える

クリック

講師の説明例文 (教材 P54)

投影スライド

PART 3で身につくリテラシー

安全確保

b-1 商売目的で自分の個人情報が使われることがあるから、スマホ・PCや情報を
守る方法を知っておく

b-3 インターネットでの振る舞いが問題になることがあるから、どうしたらトラブルにならないか
を考えながら使う

他者・社会とのコラボ

c-6 自分や他の人の個人情報を理解し、
大切に管理する

作成編集

d-3 自分や他の人の作ったものを使うとき、ルールや法律を守る大切さを理解する

活用

e-2 デジタル技術で問題が起きたとき、その問題を見つけて
解決する方法を考える

e-4 自分や周りの人のデジタル技術を使う力を見直し、
さらに良くする方法を考える

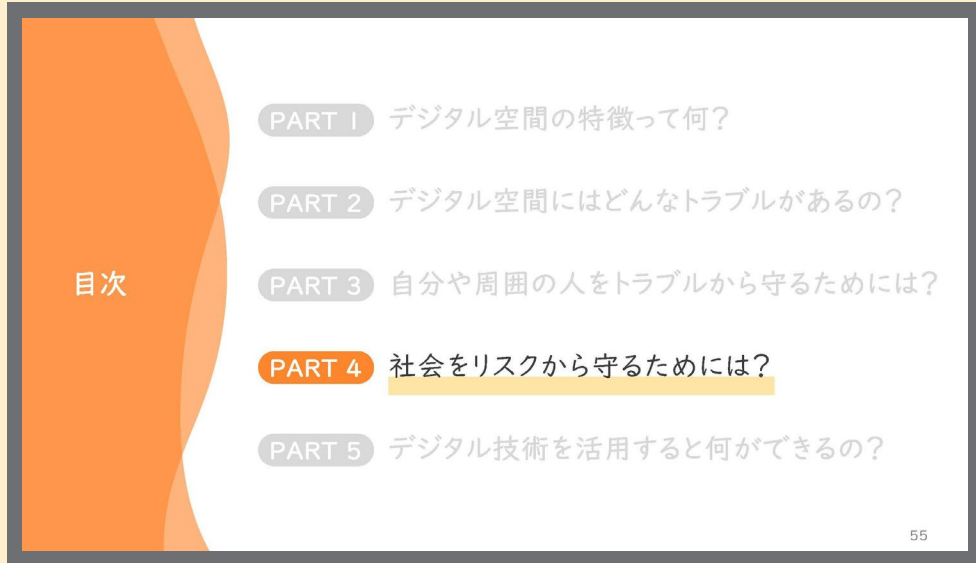
54

説明例文

クリック

講師の説明例文 (教材 P55)

投影スライド



説明例文

インターネットの使い方次第では、社会にも悪影響を与えてしまうこともあります。

パート4では、社会をリスクから守るためにはどうすればよいかを学んでいきましょう。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- PART4では、社会に大きな影響を与える、二セ・誤情報についての理解を深めてもらいましょう。
- 災害対応の妨害など、実際に社会に悪影響を与えた事例を紹介し、自分がだまされないだけでなく、一人ひとりが情報の信頼性を見極め、二セ・誤情報を拡散しないことが大切であることをしっかり伝えましょう。

講師の説明例文 (教材 P56)

投影スライド

PART
4

学べること:
空欄の答えを考えてみよう

- ニセ・誤情報を拡散すると [] に悪影響を及ぼす可能性がある
- [] がわからないものや [] を傷つける情報は拡散しない
- [] する前にひと呼吸おくことが重要である

※答えは69ページ

56

説明例文

社会をリスクから守るためにはどうすればよいか、
空欄の答えを考えてみましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P57)

投影スライド

一人ひとりのインターネットの使い方が大きな影響をもたらす

事実かどうか分からない情報が
増えてしまうと、
信頼性のある情報が埋もれてしまう

自分がだまされないだけでなく、
一人ひとりが拡散をしないことで
社会に悪影響を与えないようにしよう



57

説明例文

インターネットにはたくさんの情報があふれていますが、事実かどうか分からない情報が増えると、信頼性ある情報が埋もれてしまうなど、社会に大きな影響を与えます。

自分さえだまされなければ良いのではなく、情報を広める前に、情報の検証をしたり、拡散してもよい情報なのかを考えることで、社会への悪影響を与えないことも重要です。

一人ひとりのインターネットの使い方が大きな影響をもたらすことを忘れず、慎重に行動しましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P58)

投影スライド

ニセ・誤情報は、SNSの普及や生成AIの発展により、増えてきている



ニセ情報

意図的／意識的に作られた
ウソの情報



誤情報

勘違い／誤解により拡散した
間違い情報

増加の背景
(生成AIの特徴)

- 簡単にニセ画像・映像・音声・ニュース記事などを作成できるため
- 裏付けのない、正しくない回答をする場合があるため

参考: 総務省「上手にネットと付き合う1〜安心・安全なインターネット利用ガイド〜 特集ページ インターネットとの向き合い方〜ニセ・誤情報にだまされないために〜第2版」
https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/nisegojohou/

58

説明例文

ニセ・誤情報とはどんな情報でしょうか？

ニセ情報とは、意図的・意識的に作られたウソの情報を指して、誤情報とは、勘違いや誤解により広まってしまった、間違い情報のことを指します。

ニセ・誤情報が増えている背景の一つに、生成AIの普及が挙げられます。生成AIにより、特殊な技術がなくても、もっともらしいニセ画像・映像・音声・ニュース記事などを作成できるようになったこと、生成AIが正しくない回答をする場合があることなどがニセ情報・誤情報の増加につながっているといわれています。

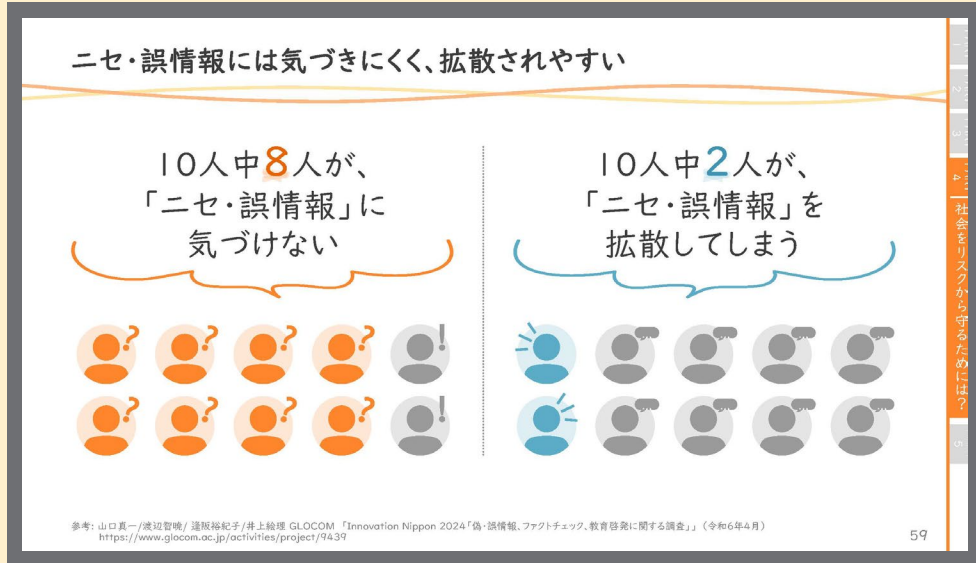
クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- 例えば、生成AIが作った画像やニュース記事などの実例を紹介するなど、ニセ・誤情報を見極めることがいかに難しくなっているか、受講者に分かりやすく伝える工夫をしてみましょう。

講師の説明例文 (教材 P59)

投影スライド



説明例文

自分はニセ・誤情報なんてそう簡単にだまされない、拡散しないと思っていませんか？

ニセ・誤情報に係る調査において、ニセ・誤情報に出会ったときに、「この情報は嘘だ」と正しく判断できた人は10人中2人、つまり、10人中8人が「ニセ・誤情報」に気づけないという結果が出ています。

また、ニセ情報・誤情報を見聞きした後に他人に伝えたかどうかを確認した調査では、10人中2人は拡散してしまったという結果も出ています。

クリック

講師の説明例文 (教材 P60)

投影スライド

ニセ・誤情報はなぜ拡散されやすいのか

人に言いたくなる 希望・願望 正義感に訴えるもの

意外性 誰も知らない

ニセ・誤情報は、
誰かに教えたい要素や感情に訴える要素を持っているため、
共感・拡散されやすい

参考：総務省「上手にネットと付き合う！～安心・安全なインターネット利用ガイド～ 特集ページ インターネットとの向き合い方～ニセ・誤情報にだまされないために～第2版」
https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/nisegojouhou/

60

説明例文

ニセ・誤情報はなぜ拡散されやすいのでしょうか？

人には「誰かに言いたいな！」「こうだったらいいな!」と自分が思い込んだものを信じてしまう傾向があります。
この現象は、「認知バイアス」と呼ばれます。

ニセ・誤情報は、認知バイアスに働きかける、誰かに教えたい要素や感情に訴える要素を持っているため、共感・拡散されやすくなります。

クリック

講師の説明例文 (教材 P61)

投影スライド



説明例文

誤った情報と気づかないまま、「大事な情報だ」と思い周囲の人に伝えてしまったり、身近な人から聞いた情報をそのまま信用してしまうことで、さらに周りの人に広めていってしまうこともあります。

二セ・誤情報が社会にどんな影響を与えたのか、例をみていきましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P63)

投影スライド

ニセ・誤情報を広めると社会に悪影響を与える可能性も・・・②



選挙・民主主義への影響

特定の党や候補者に関する
ニセ・誤情報が拡散されることで、
一人ひとりの判断に影響が出たり、
不信感が広がる可能性がある

2020年の米国大統領選挙では、候補者への票が
不正に捨てられたように見える写真がSNS上で拡散されたが、
実際にはまったく別のニュースの写真と判明

参考: NHK 「「選挙フェイク」に気をつけて」 <https://www.nhk.or.jp/senkyo/database/local/okinawa/18490/enzetsu/post01.html>

63

説明例文

ふたつめは「選挙・民主主義への影響」です。

2020年の米国大統領選挙では、候補者の票が不正に捨てられたように見える写真がSNS上で拡散されました。しかし、実際には全く別のニュースの写真であったことが判明しました。

特定の党や候補者に関する間違った情報が拡散されることで、一人ひとりの判断に影響がでたり、選挙や特定の党、候補者などに対する不信感が広がる可能性があります。

クリック

講師の説明例文 (教材 P64)

投影スライド

ニセ・誤情報を広めると社会に悪影響を与える可能性も・・・③

社会分断の助長

ニセ・誤情報が拡散されることで、特定の集団に対する差別や偏見をあおったり、政治や社会の分断を広げてしまう可能性がある

2024年にイギリスで、移民に関する差別的なニセ・誤情報が広がったことで、反移民の抗議活動や暴動が発生した



参考: NHK「イギリス 偽情報に端を発した暴動が全国に拡大 約380人逮捕」(令和6年8月6日) <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240806/k10014538511000.html>

64

説明例文

3つ目は「社会分断の助長」です。

ニセ・誤情報が拡散されてしまうと、特定の集団に対する差別や偏見をあおり、政治や社会の分断を広げてしまう可能性があります。

実際に、2024年にイギリスで移民に関する差別的なニセ・誤情報が拡散され、反移民の抗議活動や暴動が発生しました。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

紹介した事例以外にも、見聞きした事例などを問いかけることで、ニセ・誤情報による影響が身近であることを実感できるように、受講者が考える時間をつくってみましょう。

講師の説明例文 (教材 P65)

投影スライド

ニセ・誤情報にだまされないためには

まずは確認してみよう

情報の検証を行おう

- 情報源はあるか (根拠となる情報があるか)
- その分野の専門家か (専門知識や資格を持った人の発言か)
- 他ではどう言われているか (反論や誤りを指摘されていないか)
- その画像は本物か (無関係なもの、過去のものではないか)

拡散しない

- 本当かウソかわからないもの
- 誰かを傷つけるもの

参考: 総務省「上手にネットと付き合おう!〜安心・安全なインターネット利用ガイド〜 特集ページ インターネットの向き合い方〜ニセ・誤情報にだまされないために〜第2版」
https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/special/nisegojouhou/

65

説明例文

ニセ・誤情報にだまされないためには、まずは確認してみることが第一歩です。

情報の検証のために、根拠となる情報があるのか、その分野の専門家の意見なのか、使われている画像は本物か、などを確認しましょう。

そして、安易に情報を拡散しないようにしましょう。本当かウソかわからないもの、誰かを傷つける情報は拡散してはいけません。

クリック

講師の説明例文 (教材 P66)

投影スライド

ニセ・誤情報ではないかと疑い、チェックをしてみよう

リンク先を読もう



投稿している人は
どんな人か？

- 所属などを調べてみる

引用している記事は
信頼できるか？

- 引用先をクリックして
読んでみる
- 引用先は信頼できる
新聞・ニュースサイトか
確認

画像検索をしよう



投稿されているこの
画像は正しいのか？

- 画像検索する
- スマホやタブレットなら
長押し、PCなら
右クリックすると、
「画像を検索」できる
- 検索した画像が
使われている記事や
出所調べられる

画像検索 チェック

66

説明例文

情報にリンク先などがあれば、投稿している人の所属などを確認してみましょう。また、ある投稿が記事を引用している場合、記事の見出しだけでなく、実際にリンク先をクリックして、記事を読んでみたり、引用元が信頼できるかを確認しましょう。

画像付きの投稿の場合、その画像が正しい画像なのか確認する方法もあります。スマホやタブレットなら画像を長押し、PCなら右クリックをすると、「画像検索」して、検索した画像が使われている記事や出所元がどこかを調べることができます。

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

自分のスマホなどで画像検索を実際に試してみたり、ニュース記事の引用元リンクなどをクリックしてみるなど、日常生活において、ニセ・誤情報を見極めるための行動がとれるように一緒に実践してみましょう。

講師の説明例文 (教材 P67)

投影スライド

参考) 信頼できるウェブサイトは、どう判別できるの？

ウェブサイトのURLを確認してみよう！

- ウェブサイトには必ずURLが存在する
- URLにはウェブサイトに関する情報が含まれている



URLの冒頭 (https://の部分)

- 「https」から始まる場合
 - セキュリティ対応をしているウェブサイト
- 「http」(sなし) から始まる場合
 - セキュリティ対応が不十分であるため、信頼性が低いウェブサイトの可能性

URLの末尾 (「.go.jp」の部分、ドメインと呼ぶ)

- 「.go.jp」は日本政府機関や独立行政法人、特殊法人が登録する信頼性の高いドメイン

例：総務省HP「上手にネットと付き合おう！～安心・安全なインターネット利用ガイド～」

67

説明例文

参考として、信頼できるサイトの判別方法についても紹介します。

サイトのURLには、ウェブサイトに関する情報が含まれています。「https://」で始まるURLは、セキュリティが強化された通信を行っていることを示します。反対に「http://」で始まる場合は、セキュリティが保証されていない通信が行われる可能性があるため、特に個人情報を入力するサイトでは注意が必要です。

URLの末尾には、そのサイトがどのような組織によって運営されているかを示す情報が含まれています。例えば、日本国の政府機関や独立行政法人、特殊法人などは「.go.jp」が使われており、これらのドメインを持つサイトは信頼できる可能性が高いです。

クリック

講師の説明例文 (教材 P68)

投影スライド

ニセ・誤情報についてもっと知りたい方へ

ニセ・誤情報の教材でもっと深く学ぼう！



インターネットとの向き合い方
ニセ・誤情報
にだまされないために
第2版
(2025年2月改訂)

インターネットとの向き合い方
~ニセ・誤情報にだまされない
ために~第2版 (総務省)

→ Webサイト



68

説明例文

総務省の教材「インターネットとの向き合い方～ニセ・誤情報にだまされないために～第2版」では、インターネットのニセ・誤情報について詳しく説明しています。

もっと深く学びたい方は、本教材の内容もふまえて、詳しく学習してみましよう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P69)

投影スライド

PART
4 学んだこと

下線は空欄の答え

- ニセ・誤情報を拡散すると社会に悪影響を及ぼす可能性がある
- 真偽がわからないものや誰かを傷つける情報は拡散しない
- 拡散する前にひと呼吸おくことが重要である

69

説明例文

PART4で学んだことを振り返り、空欄の正解を見てみましょう。

- ・ 1つ目、ニセ・誤情報を拡散すると社会に悪影響を及ぼす可能性がある
- ・ 2つ目、真偽がわからないものや誰かを傷つける情報は拡散しない
- ・ 3つ目、拡散する前にひと呼吸おくことが重要である

クリック

講師の説明例文 (教材 P70)

投影スライド

PART 4で身につくリテラシー

取得管理	安全確保
a-2 インターネットでは自分が好きな情報や同じ意見に触れやすいことを理解し、<u>本当に信頼できる情報かを確認する</u>	b-2 インターネットにある<u>違法・有害情報やニセ・誤情報に気をつけて、どう対処するかを学ぶ</u>
b-3 インターネットでの振る舞いが問題になることがあるから、<u>どうしたらトラブルにならないか</u>を考えながら使う	b-4 インターネットやスマホ・PCを使うときに、<u>体や心の健康を保つ方法を知る</u>
他者・社会とのコラボ	
c-2 デジタル技術を活用して、<u>他の人と情報やコンテンツを共有できる</u>	c-5 インターネットで交流するとき、<u>いろんな背景を持った人々がいることに気をつけ配慮する</u>

70

説明例文

クリック

講師の説明例文 (教材 P71)

投影スライド



説明例文

デジタル技術の発展によって、私たちの生活は大きく変化しており、私たちの生活を便利に、そして豊かにしてくれる可能性が広がっています。デジタル技術を活用すると何ができるのか、パート5で学んでいきましょう。

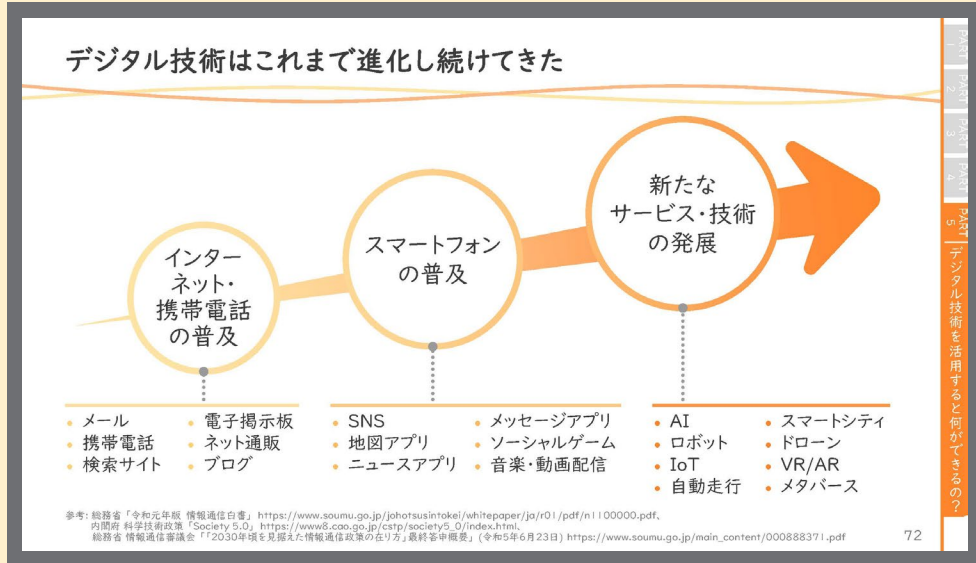
クリック

✓ 講義で意識したいポイント

- デジタル技術は私たちの生活に不可欠であり、安全に利用すれば、便利な面も多く存在します。トラブルに巻き込まれないよう、利用を避けてしまうのではなく、受講者が前向きに活用できるよう、PART5では明るい側面に焦点を当てることを意識して伝えましょう。

講師の説明例文 (教材 P72)

投影スライド



説明例文

デジタル技術はこれまで進化し続けてきました。

まず、インターネットや携帯電話の普及によって、メールや情報の検索、インターネット通販ができるようになりました。

次に、スマートフォンの普及が大きな変化をもたらしました。SNSや地図アプリ、音楽配信、ソーシャルゲーム、ニュースアプリなどが一般的になりました。

さらに、スマートホーム、フードデリバリーのように生活を便利にするデジタルサービスや、VR/AR、AIのように今後の社会を大きく変える可能性がある新たな技術が登場し、これらは更なる進化を続けています。

クリック

講師の説明例文 (教材 P73)

投影スライド

今後もデジタル技術は発展し、私たちの暮らしを豊かにする

AI技術 複雑な問題を解決したり、新しいアイデアを考えてくれる 	メタバース空間※の広がり 距離が離れた相手とも、現実と変わらない感覚で交流できる  ※インターネット上の空間で交流したり活動できる新しい仮想世界	AR/VR※ 仮想空間に没入した気分を味わえる  ※現実の世界に、仮想世界・空間、デジタルコンテンツを重ねて見れるデジタル端末
スマートシティ※の実現 都市全体のデータを活用して、環境に優しく安全に暮らせる  ※デジタル技術で暮らしをより便利で安全にした街	移動手段の発達 自動運転で、誰でもどこでも移動しやすくなる 	IoT・ロボットとの共生 家電を遠くから操作したり、ロボットが生活を助けてくれる 

参考: 内閣府 科学技術政策「Society 5.0」https://www.8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html,
総務省 情報通信審議会「『2030年頃を見据えた情報通信政策の在り方』最終答申概要」(令和5年6月23日) https://www.soumu.go.jp/main_content/000888371.pdf

73

説明例文

例えば、AI技術により、AIが複雑な問題を解決したり、新しいアイデアを考えてくれます。

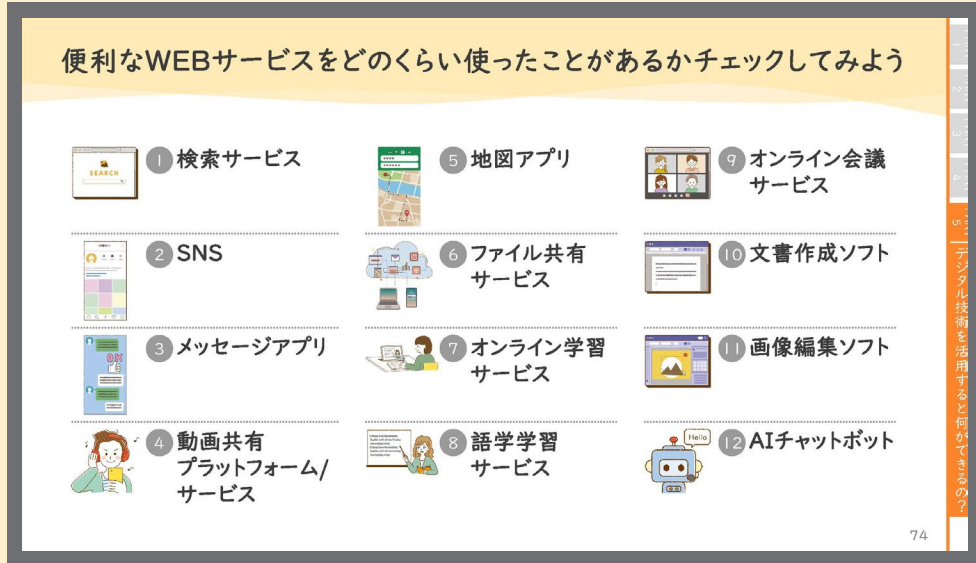
新しい仮想空間であるメタバース空間では、距離が離れた相手とも、現実と変わらない感覚で交流できるようになり、AR(拡張現実)/VR(仮想現実)などの技術も仮想空間の浸透を後押ししています。スマートシティと呼ばれる、都市全体のデータを活用し、人々の生活をより便利に安全にする街づくりや、移動手段においても、自動運転により、誰でもどこでも移動しやすい社会の実現が期待されています。

またIoT、ロボットとの共生では、人手を必要とする作業にもロボットが対応できるようになり、家事や介護、仕事など、日常の生活を手助けしてくれます。

クリック

講師の説明例文 (教材 P74)

投影スライド



説明例文

こうしたデジタル技術を使い、便利なWEBサービスはたくさん存在します。みなさんはどれくらい使ったことがあるでしょうか？

クリック

✓ 講義で意識したいポイント

各WEBサービスの説明に時間をかけすぎず、受講者の知らない、または利用したことがないサービスに重点をおいて説明しましょう。

講師の説明例文 (教材 P75)

投影スライド

情報を検索・閲覧できるサービス



① 検索サービス

- 調べたいことに関連するキーワードや画像などで検索し、情報を閲覧できる
- 興味のあることを自主的に調べて学習に役立てられる



⑤ 地図アプリ

- 行きたい場所がどこにあるのか、調べることができる



⑫ AIチャットボット

- 質問を入力すると、AIチャットボットが回答する

サービス利用を通じて身に付きリテラシー

d-1 インターネット検索の仕組みを知って、必要な情報を探するための方法を理解する

c-3 デジタルツールやサービスを使って、社会の問題を解決したり、役立つことをする

d-4 コンピュータをうまく動かすために、必要な指示を出す

75

説明例文

情報の検索サービスの例を見ていきましょう。

検索サービスによって、調べたいことに関連するキーワードで検索をすると情報が得られ、自主的な学習に役立てられます。

地図アプリでは、行きたい場所をすぐに見つけることができます。

AIチャットボットを利用すると、質問に対してAIが学習した内容を組み合わせて回答してくれます。

クリック

講師の説明例文 (教材 P76)

投影スライド

情報を発信・交換できるサービス



② SNS

- 自分の考えや作ったものを投稿したり、投稿されている情報を閲覧できる
- 繋がっている人とメッセージのやり取りができる



③ メッセージアプリ

- 特定の相手と情報を交換できる

サービス利用を通じて身に付くリテラシー

a-2

インターネットでは自分が好きな情報や同じ意見に触れやすいことを理解し、**本当に信頼できる情報かを確認する**

c-1

デジタル技術を使って、**他の人とコミュニケーションを取ることができる**

c-2

デジタル技術を活用して、**他の人と情報やコンテンツを共有できる**

76

説明例文

情報を発信・交換できるサービスについてみていきましょう。

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)は自分の考えや作成したコンテンツを投稿したり、他の人の投稿を閲覧することができます。

さらに、メッセージをやり取りすることもできます。
メッセージをやり取りするサービスは、SNSのほかに、メッセージアプリなども存在します。メッセージアプリでは、SNSと異なり、特定の相手との情報交換に利用されます。

クリック

講師の説明例文 (教材 P77)

投影スライド

どこにいても趣味や学習に取り組めるサービス



④ 動画共有プラットフォーム/サービス

- サービスに登録し、登録されている映画、ドラマ、アニメなどを視聴できる
- 誰かが投稿した動画を視聴したり、自分で動画を投稿できるサービスもある



⑦ オンライン学習サービス

- オンラインで授業を受けたり、問題集を解いたり、どこにいても学習ができる



⑧ 語学学習サービス

- オンラインで語学講師と会話の練習をしたりすることができる

サービス利用を通じて身に付くりテラシー

c-3 デジタルツールやサービスを使って、社会の問題を解決したり、役立つことをする

e-1 デジタルツールを、自分がやりたいことに合わせて調整して使う

e-3 デジタル技術を使って、自分や社会の問題を解決する方法を学ぶ

77

説明例文

どこにいても趣味や学習に取り組むことができるサービスについて紹介しましょう。

「動画視聴サービス」では、サービスに登録することで、映画やドラマ、アニメなどを視聴することができます。さらに、他の人が投稿した動画を見することもできますし、自分で動画を投稿することができるサービスもあります。このようなサービスは、楽しみながら学んだり、興味を深めたりするのに役立ちます。

次に、「オンライン学習サービス」と「語学学習サービス」は、場所を選ばずに授業を受けたり、問題集を解いたりすることができるようになります。自宅でも学校の学習を補完したり、知識を広げたりすることが可能です。語学学習サービスを利用すれば、オンラインで講師と会話の練習をすることも可能です。

クリック

講師の説明例文 (教材 P78)

投影スライド

遠くの人と共同で作業できるサービス



⑥ ファイル共有サービス

- 文書や写真などのファイルをオンラインで保存できる
- 保存したファイルのURLを共有することで、相手と一緒にファイルの編集ができるサービスもある



⑨ オンライン会議サービス

- Webサイトやファイルを共有しながら、本当に一緒に空間にいるように、オンラインで話すことができる

サービス利用を通じて身に付きリテラシー

a-3 見つけたデータや情報を保存し、**整理して管理する**

c-2 デジタル技術を活用して、**他の人と情報やコンテンツを共有できる**

c-3 デジタルツールやサービスを使って、**社会の問題を解決したり、役立つことをする**

c-4 デジタルツールを使って、**他の人とインターネット上で一緒に作業を進める**

78

説明例文

遠くの人と共同で作業ができるサービスもあります。

ファイル共有サービスは、文章や写真などのファイルをオンライン上に保存することができます。また保存したファイルのURLを共有することで、異なる場所にいながら、ほかの人と同時にファイルを閲覧したり、編集したりできるサービスもあります。

オンライン会議サービスでは、Webサイトやファイルを共有しながら、本当に一緒に空間にいるように、オンラインで話すことができます。

クリック

講師の説明例文 (教材 P79)

投影スライド

デジタルコンテンツの作成・編集ができるサービス



⑩ 文書作成ソフト

- キーボードで作成した文書を、紙に書いたように保存できる
- 文書の間に画像を入れて、分かりやすく説明をしたり、作成した文書を印刷して、配ることができる



⑪ 画像編集ソフト

- 撮った写真の色を調整して、例えば、くもりの日でも明るい写真にすることができる
- 写りこんでしまった人や物を画像から削除することができる

サービス利用を通じて身に付くリテラシー

d-1

デジタル技術を使って、
絵や動画、音楽などを作って、
自分を表現する

d-2

いろんな情報を組み合わせて、
新しい知識やコンテンツを作る

79

説明例文

デジタルコンテンツの作成・編集ができるサービスを紹介します。

文章作成ソフトでは、キーボードで入力した文書のデータを、電子的に保存できます。文書の間に写真やイラストを入れたり、文書を印刷して配布することも可能です。

また画像編集ソフトでは、撮った写真の色を調整して、例えばくもりの日でも明るい写真にすることができたり、写りこんでしまった人や物を画像から削除することができるサービスもあります。

デジタル技術の進化により、文章や絵、音楽など自分を表現するサービスは日々増え続けています。うまく活用することで、新しい知識やコンテンツを作ることができるようになります。

クリック

講師の説明例文 (教材 P80)

投影スライド

コラム

地球に優しくしながら、便利なデジタル技術を使おう！

電力や環境に配慮するために

- 使っていないアプリは閉じよう！
- ネットワーク検索は電池を消費するので、接続先が見つからない時は、Wi-Fiをオフにしよう
- 省電力モードや低電力モードをオンにしよう
- 充電をしすぎないようにしよう！20%ぐらいで充電をはじめて、80%ぐらいで充電を終えるのがおすすめ

使わないアプリの閉じ方

- 1 画面の一番下に指を置いて上にすべらせ、画面の真ん中で止める
 - ホームボタンのあるiPhoneの場合は、ホームボタンを2回押す
 - 画面の一番下に■マークやIIIマークのあるAndroidは、該当マークを押す
- 2 アプリ画面の一覧が表示されたら、左右に指をすべらせて、閉じたいアプリの画面を探す
- 3 閉じたいアプリの画面の上に指を置き、下から画面の一番上にすべらせる

説明例文

次に、「地球に優しくデジタル技術を使うためのコラム」を紹介します。

例えば、電力や環境に配慮したスマホやタブレットの使い方として、使用していないアプリを閉じることで、無駄な電力消費を減らすことができます。

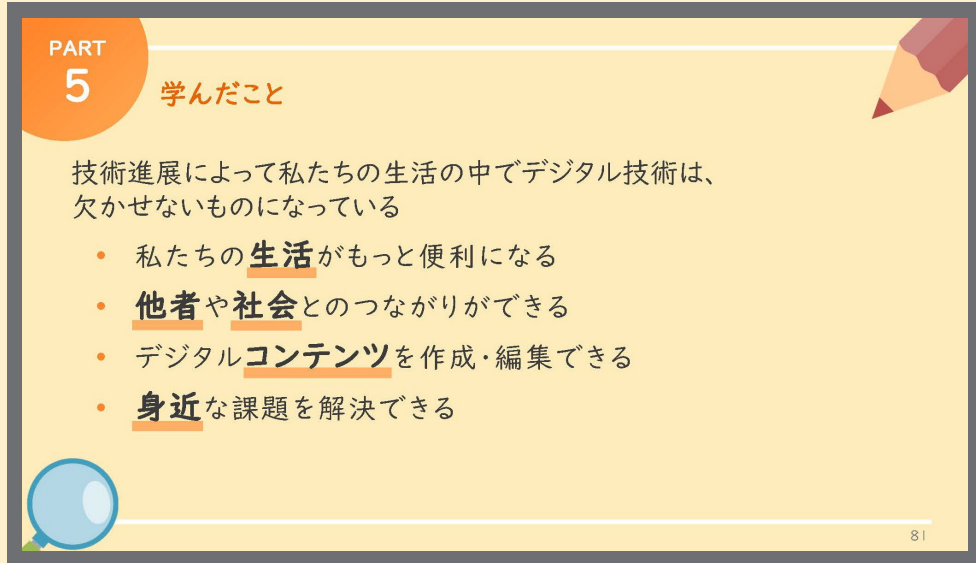
また、ネットワーク検索は消費電力が大きいので、接続先が見つからない場合、Wi-Fiをオフにして電力を節約することができます。使用しない時には省電力モードや低電力モードをオンにしてみましょう。

また、バッテリーの寿命を長持ちさせるために、充電が100%になる前に、80%ぐらいで充電を終わらせるのが良いと言われています。本コラムでは、使わないアプリの閉じ方などを紹介しているので、ぜひ参考に見てみましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P81)

投影スライド



PART
5 学んだこと

技術進展によって私たちの生活の中でデジタル技術は、
欠かせないものになっている

- 私たちの**生活**がもっと便利になる
- **他者**や**社会**とのつながりができる
- デジタル**コンテンツ**を作成・編集できる
- **身近**な課題を解決できる

81

説明例文

PART5で学んだことを振り返りましょう。

- ・ 1つ目、私たちの生活がもっと便利になる
- ・ 2つ目、他者や社会とのつながりができる
- ・ 3つ目、デジタルコンテンツを作成・編集できる
- ・ 4つ目、身近な課題を解決できる

クリック

講師の説明例文 (教材 P82)

投影スライド

PART 5で身につくリテラシー

取得管理

- a-1 インターネット検索の仕組みを知って、必要な情報を探すための方法を理解する
- a-2 インターネットでは自分が好きな情報や同じ意見に触れやすいことを理解し、本当に信頼できる情報を確認する
- a-3 見つけたデータや情報を保存し、整理して管理する

安全確保

- b-5 デジタル技術が環境にどう影響するかを考え、環境を守るためにできることを理解する

他者・社会とのコラボ

- c-1 デジタル技術を使って、他の人とコミュニケーションを取ることができる
- c-2 デジタル技術を活用して、他の人と情報やコンテンツを共有できる
- c-3 デジタルツールやサービスを使って、社会の問題を解決したり、役立つことをする
- c-4 デジタルツールを使って、他の人とインターネット上で一緒に作業を進める

作成編集

- d-1 デジタル技術を使って、絵や動画、音楽などを作って、自分を表現する
- d-2 いろんな情報を組み合わせて、新しい知識やコンテンツを作る
- d-4 コンピュータをうまく動かすために、必要な指示を出す

活用

- e-1 デジタルツールを、自分がやりたいことに合わせて調整して使う
- e-3 デジタル技術を使って、自分や社会の問題を解決する方法を学ぶ

デジタル技術は使うことでスキルが高まる!さまざまなWEBサービスを利用しよう!

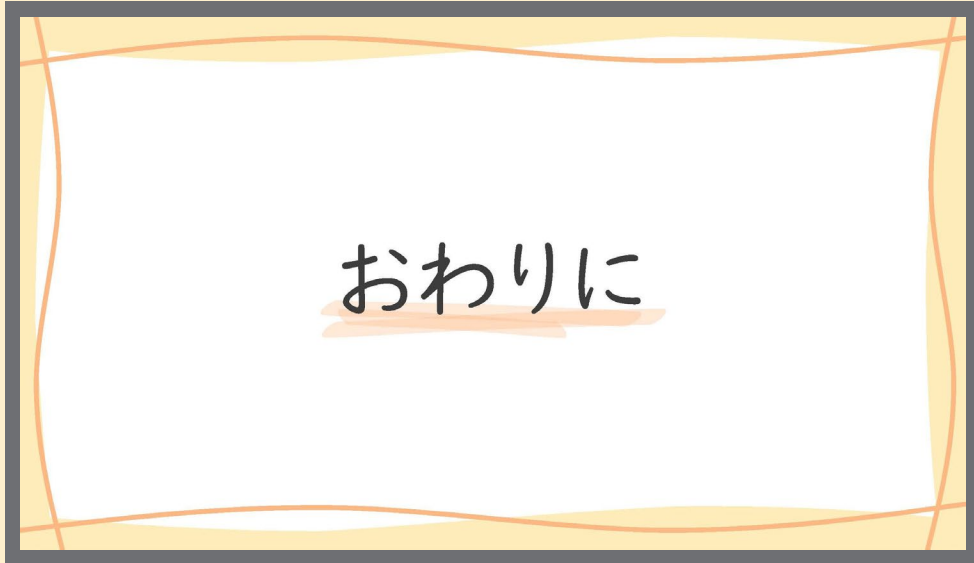
82

説明例文

クリック

講師の説明例文 (教材 P83)

投影スライド



説明例文

おわりに

クリック

講師の説明例文 (教材 P84)

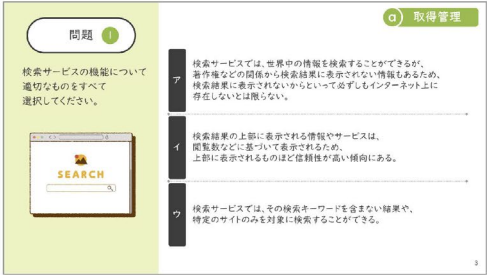
投影スライド

チェックテストで自分のICTリテラシーを確認しよう

本書で学習した内容を
クイズ形式で復習しよう

苦手なところや興味のある
テーマは継続して学ぼう!

→ Webサイト



84

説明例文

学習した内容について、クイズ形式で振り返ることができる、「チェックテスト」を用意しています。
「チェックテスト」の問題演習を通じて、苦手な部分や興味のあるテーマを理解し、学び直すことができます。

QRコードで簡単にアクセスできるので、ぜひ活用してみてください。

ICTリテラシーは継続的な学びが重要です。ぜひ繰り返し学習し、これからのデジタル社会において身につけるべき能力をしっかりと身につけ、高めていきましょう。

クリック

講師の説明例文 (教材 P85)

投影スライド

本教材で身につけられる能力

5の能力領域		22の能力
a 取得管理	データや情報を検索・管理する力	a-1 インターネット検索の仕組みを知って、必要な情報を探すための方法を理解する
		a-2 インターネットでは自分が好きな情報や同じ意見に触れやすいことを理解し、本当に信頼できる情報を確認する
		a-3 見つけたデータや情報を保存し、整理して管理する
b 安全確保	自分の身を自分で守る力	b-1 商売目的で自分の個人情報が使われることがあるから、スマホ・PCや情報を守る方法を知っておく
		b-2 インターネットにある違法・有害情報やニセ・誤情報に気をつけて、どう対処するかを学ぶ
		b-3 インターネットでの振る舞いが「問題になることがあるから、どうしたらトラブルにならないかを考えながら使う
		b-4 インターネットやスマホ・PCを使うときに、体や心の健康を保つ方法を知る
		b-5 デジタル技術が環境にどう影響するかを考え、環境を守るためにできることを理解する
c 他者・社会とのコラボ	他者や社会と関わる力	c-1 デジタル技術を使って、他の人とコミュニケーションを取ることができる
		c-2 デジタル技術を活用して、他の人と情報やコンテンツを共有できる
		c-3 デジタルツールやサービスを使って、社会の問題を解決したり、役立つことをする
		c-4 デジタルツールを使って、他の人とインターネット上で一緒に作業を進める
		c-5 インターネットで交流するとき、いろんな背景を持った人々がいることに気をつけ配慮する
		c-6 自分や他の人の個人情報を理解し、大切に管理する
d 作成編集	デジタルコンテンツを作る力	d-1 デジタル技術を使って、絵や動画、音楽などを作って、自分を表現する
		d-2 いろんな情報を組み合わせて、新しい知識やコンテンツを作る
		d-3 自分や他の人の作ったものを使うとき、ルールや法律を守る大切さを理解する
		d-4 コンピュータをうまく動かすために、必要な指示を出す
e 活用	デジタル技術で困りごとを解決する力	e-1 デジタルツールを、自分がやりたいことに合わせて調整して使う
		e-2 デジタル技術で問題が起きたとき、その問題を見つけて解決する方法を考える
		e-3 デジタル技術を使って、自分や社会の問題を解決する方法を学ぶ
		e-4 自分や周りの人のデジタル技術を使う力を見直し、さらに良くする方法を考える

85

説明例文

本教材で身につけられる能力の一覧をまとめています。
本教材により、5つの能力領域および22の能力を網羅的に
身につけることができます。

より詳しく学びたい方は、リテラシーの全体像について解説した
「リテラシー全体像の解説書」をぜひご覧ください。

クリック

講師の説明例文 (教材 P86)

投影スライド

参考) もっと知りたい方はこちら!・・・①

ペアレンタル
コントロールについて、
もっと知りたいなら...

フィルタリングや時間管理等で上手にコントロール
(総務省)

→ Webサイト



ペアレンタル
コントロールについて、
動画で学びたいなら...

【お子さまのスマホに】
していますか?ペアレンタルコントロール(総務省)

→ Webサイト



ニセ・誤情報について
知りたいなら...

インターネットとの向き合い方
～ニセ・誤情報にだまされないために～第2版
(総務省)

→ Webサイト



86

説明例文

本教材の他にも、総務省ではICTリテラシーに係る、さまざまな情報を提供しています。もっと知りたい方は、こちらのリンクからアクセスしてみてください。

クリック

講師の説明例文 (教材 P87)

投影スライド

参考) もっと知りたい方はこちら!・・・②

インターネットで
子どもが会う
トラブルについて
知りたいなら...

インターネットトラブル事例集(総務省)

→ Webサイト



子どもたちの
デジタル技術活用
の見守り方を
知りたいなら...

家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ(総務省)

→ Webサイト



87

説明例文

クリック

つくろう！守ろう！安心できる情報社会



発行者

総務省 情報流通行政局 情報流通振興課